

283

19

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5

始



283
19

松本高等學校一覽

自大正八年
至大正九年

大正九年一月文部省令第四號ヲ以テ高等
學校規程中第二十四條第二項(一覽十)及第
三十八條但書(一覽二)ヲ削除セラル

目 次

枝 寄贈本

第一 學年曆.....	一
第二 沿革略.....	三
第三 關係法令.....	四
一、高等學校令.....	五
二、高等學校規程(抄).....	六
三、官立高等學校高等科入學者選拔試驗規程.....	七
四、高等學校高等科入學資格試驗規程.....	八
五、專門學校入學者檢定規程.....	九
六、文部省直轄諸學校官制(抄).....	一〇
七、文部省直轄諸學校職員定員令(抄).....	一一
八、文部省直轄學校外國人特別入學規程.....	一二



九、臺灣人及朝鮮人ニ外國人特別入學規程準用ニ關スル訓令………	三七
十、文部省直轄學校中ノ二個以上ノ學科専門部若ハ學校ニ入學志願者ノ入 學スヘキ學校ニ關スル告示………	三八
十一、文部省直轄諸學校生徒ノ學校長ノ許可ナクシテ受ケタル他ノ直轄諸 學校入學試験無効ニ關スル規程………	三九
十二、雇外國人使用ニ關スル規定………	三九
第四 聖則………	三九
一、總則………	三九
二、學科課程………	三九
三、學年、學期、式日及休業………	四六
四、入學、在學、休學、退學及懲戒………	四八
五、成績考查、進級及卒業………	五二
六、特待生………	五四

七、授業料………	五五
八、服制………	五六
九、寄宿舍………	五六
十、圖書及器械………	五七
第五 生徒心得………	六一
第六 細則………	六四
一、成績考查、進級及卒業ニ關スル細則………	六四
二、服制ニ關スル細則………	六六
三、圖書ニ關スル細則………	六九
四、學級編制………	七一
五、學級主任………	七二
六、生徒總代………	七二
七、修學旅行、行軍………	七三

- 八、教員會議 七四
九、事務分掌規程 七五
第七 職員 七五
第八 生徒 七八
第九 生徒道府縣別表 九一
第十 生徒年齡別表 九三
松本高等學校校友會會則 九四
附圖 九四

本校敷地建物豫定圖並長野縣立松本中學校內本校假教室及事務所圖 卷末

松本高等學校一覽

第一、學年曆

至同大正九年

大正八年	九月十一日	秋分日	(秋季皇靈祭)休	十月十七日	(神嘗祭)休	十月三十一日	(天長節祝日)天長節祝賀式	十一月十三日	(新嘗祭)休	十二月二十四日	冬季休業始
------	-------	-----	----------	-------	--------	--------	---------------	--------	--------	---------	-------

一月一日	新年祝賀式	新 年 祝 賀 式
一月七日		
一月八日		
二月十一日	(紀元節) 紀元節祝賀式	第二學期始業終業
春分日	(春季皇靈祭) 休業	第二學期終業
三月三十一日		
四月一日		
四月七日		
四月八日		
四月十五日	(本校創立記念日) 休業	春季休業始業
七月十日		
七月十一日		
九月十日		
九月十一日		

第二、沿革略

大正八年

- 四月勅令第百十二號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制ヲ改正セラレ本校ヲ設置セラル
- 同月勅令第百十三號ヲ以テ本校職員定員ヲ定メラル
- 同月東京外國語學校長茨木清次郎本校校長ニ任セラル
- 同月文部省令第十三號ヲ以テ本校ヲ長野縣松本市ニ設置シ九月ヨリ授業開始ノ旨公布セラル
- 同月文部省内ニ於テ事務ヲ開始ス
- 六月本校事務所ヲ松本市長野縣立松本中學校内ニ移ス
- 同月事務分掌規程ヲ定ム
- 七月入學者選拔試験ヲ行ア
- 八月教育ニ關スル 勅語體本ヲ拜戴ス

同月文部大臣ノ許可ヲ受ケ本校學則ヲ制定ス
同月成績考査、進級及卒業ニ關スル細則、服制ニ關スル細則、圖書及器械ニ關スル細則等ヲ定ム

九月十一日生徒入學式ヲ舉行シ同十三日縣立松本中學校々舍ノ一部ヲ使用シ授業ヲ開始ス

第三、關係法令

一、高等學校令

大正七年十二月
勅令第三百八十九號

第一條 高等學校ハ男子ノ高等普通教育ヲ完成スルヲ以テ目的トシ特ニ國民道德ノ充實ニ力ムヘキモノトス

第二條 高等學校ハ官立、公立又ハ私立トス

第三條 高等學校ヲ設立スルコトヲ得ル公共團體ハ北海道及府縣トス

第四條 私立高等學校ハ財團法人タルコトヲ要ス但シ特別ノ必要ニ因リ學校經營ノミヲ目的トスル財團法人カ其ノ事業トシテ之ヲ設立スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五條 前條ノ財團法人ハ高等學校ニ必要ナル設備又ハ之ニ要スル資金及少クトモ高等學校ヲ維持スルニ足ルヘキ收入ヲ生スル基本財產ヲ有スルコトヲ要ス但シ其ノ基本財產ノ額ハ五十萬圓ヲ下ルコトヲ得ス

基本財產中前項ニ該當スルモノハ現金又ハ國債證券其ノ他文部大臣ノ定ムル有價證券トシ之ヲ供託スヘシ

第六條 公立及私立ノ高等學校ノ設立廢止ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第七條 高等學校ノ修業年限ハ七年トシ高等科三年尋常科四年トス

高等學校ハ高等科ノミヲ置クコトヲ得

第八條 高等學校高等科ヲ分チテ文科及理科トス

第九條 高等學校ニハ高等科ヲ卒リタル者ノ爲ニ專攻科ヲ置クコトヲ得其ノ修業年限ハ一年トス

專攻科ヲ卒リタル者ハ得業士ト稱スルコトヲ得

專攻科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十條 高等學校ニハ特別ノ必要アル場合ニ於テ豫科ヲ置クコトヲ得但シ第七條第二項ノ高等學校ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

高等學校豫科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十一條 高等學校尋常科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ當該學校豫科ヲ修了シタル者、尋常小學校ヲ卒業シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

第十二條 高等學校高等科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ當該學校尋常科ヲ修了シタル者、中學校第四學年ヲ修了シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

第十三條 高等學校ノ生徒定數ハ高等科四百八十人以内尋常科三百二十人以内トシ第七條第二項ノ高等學校ニ在リテハ專攻科ヲ除キ六百人以内トス

第十四條 高等學校ニ於テハ同科同學年ノ生徒ヲ以テ學級ヲ編制スヘシ

一學級ノ生徒定數ハ四十人以内トス

第十五條 高等學校ニ於テハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ學科目ノ種類ニ從ヒ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第十六條 高等學校ノ教員ハ文部大臣ノ授與シタル高等學校教員免許狀ヲ有スル者タルコトヲ要ス但シ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ免許狀ヲ有セナル者ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得高等學校教員免許狀ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十七條 高等學校ノ設備、編制、學科目及其ノ程度、教科書並生徒ノ入學退學及懲戒、授業料入學料等ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十八條 公立及私立ノ高等學校ハ文部大臣ノ監督ニ屬ス

第十九條 文部大臣ハ公立及私立ノ高等學校ニ對シ報告ヲ徵シ檢閱ヲ行ヒ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ爲スニトヲ得

第二十條 本令ニ依ラサル學校ハ勅定規程ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外高等學校ト稱シ又ハ其ノ名稱ニ高等學校タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス

附 則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治二十七年勅令第七十五號高等學校令及高等中學校令ハ之ヲ廢止ス
舊令ニ依ル高等學校ハ之ヲ本令ニ依ル高等學校トス

前項ノ高等學校ニハ當分ノ内第十三條ノ規定ヲ適用セス

高等學校大學豫科ハ大正十年八月三十一日マテ之ヲ存置ス

二、高等學校規程(抄)

文部省令第八號 大正八年三月

第一章 學科課程及教科書

第二節 高等科

第四條 高等科文科ノ學科目ハ修身、國語及漢文、第一外國語、第二外國語、歷史、地理、哲學概說、心理及論理、法制及經濟、數學、自然科學、體操トス
高等理科ノ學科目ハ修身、國語及漢文、第一外國語、第二外國語、數學、物理、化學、植物及動物、礦物及地質、心理、法制及經濟、圖畫、體操トス
外國語ハ英語、獨語又ハ佛語トス

第二外國語ハ隨意科目トス

第五條 修身ハ教育ニ關スル勅語ノ旨趣ニ基キ道徳上ノ思想及情操ヲ養成シ實踐躬行ヲ勸奨スルヲ以テ要旨トス

修身ハ道徳ノ要領ヲ授ケ國家、社會、家族ニ對スル責務並人格修養ニ關シ必要ナル事項ヲ知ラシメ特ニ我國民道徳ヲ會得シ其ノ實行ニ努メシムヘシ

第六條 國語及漢文ハ言語文章ヲ了解シ正確且自由ニ思想ヲ表ハスノ能力ヲ得シメ智德ヲ啓發シ文學上ノ趣味ヲ養フヲ以テ要旨トス

國語及漢文ハ文科ニ在リテハ近世、近古及中古ノ國文ヲ授ケ進ミテ上古文ノ一般ニ及ホシ又普通ノ漢文ヲ講讀セシメ國語文法及國文學史ノ大要ヲ授ケ作文ニ習熟セシムヘシ

理科ニ在リテハ近世及近古ノ國文並普通ノ漢文ヲ授ケ作文ニ習熟セシムヘシ

第七條 外國語ハ英語、獨語又ハ佛語ヲ了解シ且之ニ依リテ思想ヲ表ハスノ能力ヲ得シメ兼テ智德ノ增進ニ資スルヲ以テ要旨トス

外國語ハ發音、綴字、讀方、譯解、話方、作文、書取及文法ヲ授クヘシ

第八條 歴史ハ重要ナル古今ノ事蹟ヲ知ラシメ邦國ノ盛衰、文化ノ發達ヲ理會セシメ特ニ我國運發展ノ由來、國體ノ特異ナル所以ヲ明ニシ國民性格ノ養成ニ資スルヲ以テ要旨トス

歴史ハ日本歴史、東洋歴史及西洋歴史ヲ授クヘシ

第九條 地理ハ我國及重ナル世界各國ノ現狀ヲ知ラシムルヲ以テ要旨トス

地理ハ我國及諸外國ノ政治、經濟等ニ關スル地理上ノ知識ヲ授クヘシ

第十條 哲學概說ハ思想界ニ關スル知識ヲ與ヘ哲學ノ概念ヲ會得セシムルヲ以テ要旨トス

哲學概說ハ東洋及西洋ノ哲學、宗教等ニ就キテ其ノ大要ヲ授クヘシ

第十一條 心理及論理ハ心意ニ關スル知識ヲ得シメ思考ヲ鍛鍊セシムルヲ以テ要旨トス

心理及論理ハ各種ノ精神作用、思考ノ原則及其ノ方法ノ概要ヲ授クヘシ

第十二條 數學ハ數理ヲ會得セシメ計算應用ニ熟セシメ思考ヲ精確ナラシムルヲ以テ要旨トス

數學ハ文科ニ在リテハ數學諸論ノ大要ヲ授ケ、理科ニ在リテハ代數、立體幾何、三角法、

初等解析幾何、初等微分積分及初等力學ヲ授クヘシ

第十三條 自然科學ハ天然物及自然ノ現象ニ關スル知識ヲ與ヘ其ノ法則ヲ理會セシムルヲ以テ要旨トス

自然科學ハ生物、地質、物理、化學等ニ關スル主要ナル事項ヲ授クヘシ

第十四條 物理、化學ハ自然ノ現象ニ關スル知識ヲ與ヘ其ノ法則ヲ理會セシメ之カ應用ヲ示シ兼テ觀察工夫ノ力ヲ養フヲ以テ要旨トス

物理ハ力學、物性、音響、熱、光、磁氣、電氣ヲ授ケ又主要ナル實驗ヲ課スヘシ

化學ハ無機化學及有機化學ヲ授ケ又主要ナル實驗ヲ課スヘシ

第十五條 植物及動物、鑽物及地質ハ天然物ニ關スル知識ヲ與ヘ之カ應用ヲ示シ兼テ觀察ヲ精確ナラシムルヲ以テ要旨トス

植物及動物ハ生物ノ形態、生理、分類、進化ニ關スル知識ヲ授ケ又主要ナル實驗ヲ課スヘシ

鑽物及地質ハ鑽物ノ產狀、性質、用途、地球ノ構成及其ノ變遷ニ關スル知識ヲ授ケ又便

宜主要ナル實驗ヲ課スヘシ

第十六條 法制及經濟ハ法制及經濟ニ關スル事項ニ就キ國民生活ニ必要ナル知識ヲ得シムルヲ以テ要旨トス

法制及經濟ハ帝國憲法ノ大要及日常ノ生活ニ適切ナル法制上及經濟財政上ノ事項ヲ授クヘシ

第十七條 圖畫ハ形體ヲ正確且自由ニ畫クノ能力ヲ得シメ意匠ヲ練リ思考ヲ精確ナラシムルヲ以テ要旨トス

圖畫ハ自在畫、平面幾何畫、立體幾何畫ヲ授クヘシ

第十八條 體操ハ身體ヲ健全ニシム動作ヲ敏捷活ナラシメ剛健ノ精神ト規律ヲ守リ協同ヲ尙フノ習慣トヲ養フヲ以テ要旨トス

體操ハ教練及體操ヲ授クヘシ又劍道及柔道ヲ加フルコトヲ得

第十九條 文科ノ各學年ニ於ケル各學科目ノ毎週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

學科目	學年	第一學年	第二學年	第三學年
-----	----	------	------	------

體操	三	二	三	
自然科學	三	三	二	二
數學	三	二	二	二
法制及經濟	三	二	二	三
心理及論理				
哲學概說			二	
國語及漢文			三	一
第一外國語		九	八	五
第二外國語		(四)	(四)	(四)
地歴		五	八	五
修身		一	一	一
身				

(二九) (二九) (二八)

計

(二九) (二九) (二八)

(二九) (二九) (二八)

第一外國語ハ尋常科又ハ中學校ニ於テ生徒ノ履修シタル外國語トス但シ生徒ノ志望ニ依リ第一外國語ノ種類ヲ轉換スルコトヲ得シム此ノ場合ニ於テハ各學年ニ於ケル第一外國語及第二外國語ノ每週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

學科目	學年	第一學年			第二學年			第三學年			計
		第一	第二	第三	第一	第二	第三	第一	第二	第三	
第一外國語	一	一	一	一	八	六	六	一〇	一〇	一〇	第二外國語
第二外國語	(三)	(三)	(三)	(三)	(三)	(三)	(三)	(三)	(三)	(三)	計
修身	一	一	一	一	(三一)	(三一)	(三一)	(三〇)	(三〇)	(三〇)	計
					(三四)	(三四)	(三四)	(三三)	(三三)	(三三)	

第二外國語ヲ修メサル者ニ對シテハ其ノ教授時數ヲ便宜他ノ學科目ニ配當スルコトヲ得
第二十條 理科ノ各學年ニ於ケル各學科目ノ每週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

體操	圖畫	法制及經濟	心理	礦物及地質	植物及動物	化學	物理	數學	國語及漢文	第一外國語	第二外國語	第一外國語
三	二	二	二	二	二	·	·	·	四	八	六	二
三	二	二	二	二	二	三	三	四	(四)	(四)	(四)	(四)
三	(二)				(講義二四)	實驗二四	實驗二五	實驗二五	講義三五	講義三五	講義三五	(二)

學科目	學年	計		
		(三二)	(三二)	(三二)
第一外國語	一〇	九	九	九
第二外國語	(三)	(三)	(三)	(三)
計	(三〇)	(三一)	(三一)	(三四)

第二外國語ヲ修メサル者ニ對シテハ其ノ教授時數ヲ便宜他ノ學科目ニ配當スルコトヲ得

第三節 專攻科

第二十一條 專攻科ノ學科目ハ左ノ學科目中ヨリ便宜選擇シテ之ヲ定ムヘシ

國語、漢文、支那時文、外國語、史學、哲學、倫理學、社會學、法律學、政治學、經濟學、數學、物理學、化學、植物學、動物學、礦物學、地質學、天文學、氣象學、應用化學、機械工學、實業ニ關スル科目等

第四節 教授上ノ注意

第二十二條 高等學校ニ於テハ高等學校令第一條ノ旨趣ニ依リ生徒ヲ教育シ殊ニ國民道德ノ充實ニ關聯セル事項ハ何レノ學科目ニ於テモ常ニ留意シテ教授センコトヲ要ス

各學科目ノ教授ハ其ノ目的及方法ヲ誤ルコトナク互ニ相聯絡シテ補益センコトヲ要ス

第五節 教科書

第二十三條 高等學校ノ教科書ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ學校長之ヲ定ムヘシ但シ文部大臣ノ検定ヲ經タル中學校教科書ヲ尋常科ノ教科書トシテ使用スル場合ニ於テハ認可ヲ要セ

ス

第二章 學年、教授日數及式日

第二十四條 學年ハ四月一日ヨリ翌年三月三十日マテトス但シ九月一日ヨリ翌年八月三十日マテト爲スコトヲ得

學年ハ分チテ二學期トス但シ專攻科ニ在リテハ學期ヲ分タサルコトヲ得
第二十五條 教授日數ハ尋常科ニ在リテハ每學年二百二十日以上高等科ニ在リテハ每學年二百日以上專攻科ニ在リテハ百九十日以上トス但シ次條ノ場合及特別ノ事情ニ依リ文部大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ニ於テハ此ノ限ニアラス

試験及修學旅行ニ充ツル日數ハ前項ノ日數ニ算入セス

第二十六條 傳染病豫防ノ爲必要ナルトキ其ノ他非常變災アルトキハ臨時休業ヲ爲スコトヲ得

第二十七條 紀元節、天長節祝日及一月一日ニハ職員及生徒學校ニ參集シテ祝賀ノ式ヲ行フヘシ

第三章 編 制

第二十八條 尋常科ニ於テ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得ル場合

ニ關シテハ中學校ニ關スル規定ヲ準用ス

高等科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除ク外文部大臣ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第二十九條 公立又ハ私立ノ高等學校ノ教員數並專任教員及兼任教員ノ割合ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ムヘシ

第三十條 公立又ハ私立ノ高等學校高等科ニ於テ劍道又ハ柔道ノ教授ヲ擔任スル教員ハ前條ノ定數外トス

第四章 設 備

第三十一條 高等學校ニ於テハ校地、校舍、體操場及校具ヲ備フヘシ

第三十二條 校地ハ學校ノ規模ニ適應セル面積ヲ有シ且道德上及衛生上害ナキ所タルヘシ
第三十三條 校舍ニハ教室、事務室其ノ他必要ナル實驗室、圖書室、器械室、標本室等ヲ備フヘシ

校舍ハ教授上、管理上及衛生上適當ニシテ堅牢ナルコトヲ要ス

第三十四條 校具ハ教授上必要ナル圖書、機械、器具、標本、模型等トス

第三十五條 高等學校ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一 學則、日課表及教科用圖書配當表

二 職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三 生徒學籍簿、出席簿、身體檢查ニ關スル表簿及入營延期又ハ徵兵猶豫ニ關スル書類

四 試験ノ問題、答案及成績表

五 資產原簿、出納簿、經費豫算、決算ニ關スル帳簿及圖書、機械、器具、標本、模型ノ目錄

生徒學籍簿ニハ生徒ノ氏名、族籍、居所、生年月日、入學前ノ學歷、入學轉學退學ノ年月日及其ノ學年、卒業ノ年月日、入學試験ノ有無、轉學退學ノ事由、徵兵事故、保證人ノ氏名及居所等ヲ記載スヘシ

第五章 設立及廢止

第三十六條 公立又ハ私立ノ高等學校ノ設立ニ付認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ具

シ文部大臣ニ申請スヘシ

一 名稱

二 高等學校令第七條ノ事項

三 學則

四 各科ノ生徒定數

五 位置及校地

六 校舍ノ圖面及建設ノ設計

七 開校ノ期日

八 經費及維持ノ方法

前項第五號ニ關シテハ校地ノ地質及面積並附近ノ情況ヲ記載シタル圖面及飲用水ノ定性分析表ヲ添附スヘシ

第一項各號ノ變更ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第三十七條 公立又ハ私立ノ高等學校ノ廢止ニ付認可ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由及生

徒ノ處分方法ヲ具シ文部大臣ニ申請スヘシ

第六章 入學、在學、休學、退學及懲戒

第三十八條 生徒ヲ入學セシムヘキ時期ハ學年ノ始ヨリ卅日以内トス但シ缺員アル時ハ第二學期ノ始ヨリ十日以内ニ臨時入學セシムルコトヲ得

第三十九條 當該高等學校ノ豫科ヲ修了シタルモノハ其ノ他ノ志願者ニ先チ之ヲ尋常科ニ入學セシムヘシ

第四十條 他ノ高等學校又ハ中學校ノ豫科ヲ修了シタル者及高等學校ニ於テ國語、算術、日本歴史、地理、理科ニ就キ尋常小學校卒業ノ程度ニ依リ行フ試験ニ合格シタル者ハ尋常科ノ入學ニ關シ尋常小學校ヲ卒業シタル者ト同等以上ノ學力アリト認ム

當該高等學校ノ豫科ヲ修了シタル者以外ノ入學志願者ノ數尋常科ニ入學セシムヘキ人員ニ超過スルトキハ尋常小學校卒業ノ程度ニ依ル試験ニ依リテ入學者ヲ選拔スヘシ

第四十一條 尋常科第二學年以上ニ入學ヲ許スヘキ者ハ第一學年ニ入學スル資格ヲ有シ且前各學年ノ課程ヲ修了シタル者ト同等以上ノ學力ヲ有スル者タルヘシ

前項入學者ノ學力ハ前各學年ノ程度ニ於テ其ノ各學科目ニ就キ試験ニヨリ之ヲ検定スヘシ

第四十二條 當該高等學校尋常科ヲ修了シタル者ハ其ノ他ノ志願者ニ先チ之ヲ高等科ニ入學セシムヘシ

第四十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ高等科ノ入學ニ關シ中學校第四學年ヲ修了シタル者ト同等以上ノ學力アリト認ム

一 他ノ高等學校尋常科ヲ修了シタル者
二 高等學校高等科入學資格試験ニ合格シタル者

三 專門學校入學者検定規程ニ依リ試験検定ニ合格シタル者

四 文部大臣ニ於テ高等學校高等科ノ入學ニ關シ指定シタル者

五 文部大臣ニ於テ一般ノ専門學校ノ入學ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ノ學力アリト指定シタル者

前項ノ資格試験ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第四十四條 當該高等學校尋常科ヲ修了シタル者以外ノ入學志願者ノ數高等科各科ニ入學セシムヘキ人員ニ超過スルトキハ中學校第四學年修了ノ程度ニ依ル試験ニ依リテ入學ヲ選拔スヘシ但シ無試験検定ヲ行ヒテ入學者ヲ定ムルコトヲ得

第四十五條 高等學校ニ於テハ入學志願者ニ對シテ體格検査ヲ行ヒ之ニ合格シタル者ニ限リ入學セシムヘシ但シ當該學校ニ於テ豫科ヨリ尋常科ニ進入シ又ハ尋常科ヨリ高等科ニ進入スル者ニ關シテハ此限ニ在ラス

第四十六條 高等科第二學年以上ニ入學ヲ許スヘキ者ハ第一學年ニ入學スル資格ヲ有シ且前各學年ノ課程ヲ修了シタル者ト同等以上ノ學力ヲ有スル者タルヘシ
前項入學者ノ學力ハ前各學年ノ程度ニ於テ其ノ各學科目ニ就キ試験ニ依リ之ヲ檢定スヘシ

第四十七條 高等學校生徒ニシテ退學シタル者退學シタル時ヨリ一年以内ニ於テ高等學校ニ入學ヲ志願シタル時ハ同一學年以下ノ學年ニ限リ入學ヲ許可スルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テ其ノ退學シタル高等學校ニ再入學ヲ志願シタル者ニ限リ試験ニ依ラサ

ルコトヲ得

第四十八條 高等學校生徒ニシテ他ノ高等學校ニ轉學ヲ志願スル者アルトキハ關係學校長ノ協議ニ依リ之ヲ許可スルコトヲ得

第四十九條 高等學校尋常科ト中學校トノ相當學年相互ノ間ニ於テハ前條ノ規定ニ準シ轉學ヲ許可スルコトヲ得

第五十條 高等學校ニ於テ各學年ノ課程ノ修了又ハ全學科ノ卒業ヲ認ムルニハ平素ノ學業及試験ノ成績ヲ考查シテ之ヲ定ムヘシ但シ正當ノ事由アリテ試験ニ缺席シタル者ニ對シテハ平素ノ成績ノミヲ考查シテ之ヲ定ムルコトヲ得
試験ハ學校長ノ見込ニ依リ之ヲ行ハサルコトヲ得

第五十一條 學校長ハ一學年ノ課程ヲ修了セサル生徒ノ學年ヲ進ムルコトヲ得ス

第五十二條 學校長ハ高等學校高等科ヲ卒業シタル者ニハ卒業證書ヲ、專攻科ヲ卒リタル者ニハ得業証書ヲ、尋常科ヲ修了シタル者ニハ修了証書ヲ授與スヘシ

第五十三條 學校長ハ正當ノ事由アリト認メタルトキハ生徒ノ休學ヲ許可スヘシ

第五十四條 學校長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命スヘシ

一 性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二 學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者

三 引續キ一年以上缺席シタル者

四 正當ノ事由ナクシテ引續キ一箇月以上缺席シタル者

五 出席常ナラサル者

第五十五條 生徒退學セントスルトキハ學校長ノ許可ヲ受クヘシ

第五十六條 學校長ハ教育上必要ト認メタルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第七章 豫科

第五十七條 高等學校ノ豫科ニ關シテハ中學校ノ豫科ニ關スル中學校令施行規則ノ規定ヲ

準用ス

第八章 雜則

第五十八條 高等學校ノ學則中ニ規定スヘキ事項凡左ノ如シ

- 一 學年、學期及休業日ニ關スル事項
- 二 學科課程、教授時數ニ關スル事項
- 三 課程ノ修了及卒業ノ認定ニ關スル事項
- 四 生徒入學、退學、懲戒ニ關スル事項
- 五 授業料入學料等ニ關スル事項

第五十九條 私立ノ高等學校ニ關シ文部大臣へ提出スヘキ文書ハ地方長官ヲ經由スヘシ

附 則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ高等學校大學豫科ニ在學スル生徒ニシテ大正十年八月三十日マテニ卒業セサルヘキモノハ之ヲ高等學校高等科ノ相當學年ニ編入ス

高等中學校規程、明治四十一年文部省令第九號高等學校大學豫科入學者無試驗檢定規程及高等學校大學豫科入學者選拔試驗規定ハ之ヲ廢止ス

三 官立高等學校高等科入學者選拔試驗規程

大正八年四月
文部省令第十四號

第一條 入學志願者ノ數當該高等學校生徒募集人員ニ超過シタルトキハ選拔試験ヲ行フ
第二條 各高等學校ニ入學セシムヘキ生徒ノ概數、選拔試験ニ關スル細目及出願ノ手續等
ハ其ノ都度文部大臣之ヲ告示ス

第三條 選拔試験ノ學科目ハ中學校第四學年マテノ必修學科目中ニ就キ之ヲ選定ス但シ外
國語ハ英語、獨語及佛語ノ中本人ヲシテ其ノ一ヲ選ハシム

前項ノ試験ハ中學校第四學年修了ノ程度ニ依ル

第四條 選拔試験ハ各高等學校同時ニ之ヲ行フ

第五條 入學志願者ハ其ノ入學後修業セントスル科及類ヲ指定スヘシ
指定スヘキ科及類ハ左ノ如シ

文科 甲類 英語ヲ第一外國語トスルモノ

文科 乙類 獨語ヲ第一外國語トスルモノ

文科 丙類 佛語ヲ第一外國語トスルモノ

理科 甲類 英語ヲ第一外國語トスルモノ

理科 乙類 獨語ヲ第一外國語トスルモノ

理科 丙類 佛語ヲ第一外國語トスルモノ

選拔試験ノ外國語ニ英語ヲ選フ者ハ志望ノ類二個以上（同一科内ノ類ニ限ル）ヲ併セ指定スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ志望ノ類ノ順位ヲ定ムヘシ獨語ヲ選フ者ノ志望シ得ル類ハ文科乙類又ハ理科乙類ニ限り佛語ヲ選フ者ノ志望シ得ル類ハ文科丙類ニ限ル

第六條 入學ヲ許可スヘキ者ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ定ム

一 各高等學校ニ於テ各科毎ニ其科ニ入學セシムヘキ人員ノ總數ト同數ノ人員ヲ試験ノ成績順ニ依リ選出ス

二 前號ノ場合ニ於テ試験成績相同シキトキハ抽籤ニ依ル

三 前二號ニ依リ選出スル人員ニ就キ試験ノ成績順ニ依リ本人ノ指定スル第一ノ志望類ニ配當ス

四 前號ニ依リ配當ノ結果本人ノ指定スル第一ノ志望類既ニ滿員トナリタル場合ニ於テハ更ニ成績順ニ依リ本人ノ指定スル第二以下ノ志望類ニ配當ス

五 本人ノ指定スル類悉ク滿員トナリタルトキハ入學スルコトヲ得サルモノトス

前項ニ依リ配當ノ結果又ハ事故ノ爲入學者ニ缺員ヲ生シタルトキハ入學スルコトヲ得ザ
リシ者ニ就キ更ニ前項ノ方法ニ依リ之ヲ補填ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

四、高等學校高等科入學資格試驗規程

大正八年三月 文部省令第九號

第一條 高等學校規定第四十三條ノ高等學校高等科入學資格試驗ヲ受ケントスル者ハ年齢
滿十六年以上ノ男子ニシテ身體健全、品行方正且現ニ中學校ニ在學セサル者タルヘシ
第二條 高等學校高等科入學資格試驗ハ文部大臣ノ指定シタル中學校ニ於テ便宜之ヲ行フ
第三條 試驗ハ中學校第四學年マテノ必須各學科目ニ就キ第四學年修了ノ程度ニ依リ之ヲ
行フヘシ

第四條 中學校ニ於テハ高等學校高等科入學資格試驗ニ合格シタル者ニ合格證書ヲ交付ス
ヘシ

第五條 高等學校高等科入學資格試驗ノ問題、答案及成績表ハ五年以上保存スヘシ

第六條 中學校ニ於テハ本令ノ試驗ニ付試驗手數料ヲ徵收スルコトヲ得
附 則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

五、專門學校入學者檢定規程

明治三十六年三月 文部省令第十四號

第一條 專門學校ノ本科ニ入學セントスル者ニシテ中學校若ハ修業年限四箇年以上ノ高等
女學校ヲ卒業セサル者ハ此規程ニ依リ檢定ヲ受クヘキモノトス
第二條 檢定ヲ受ケントスル者ハ左ノ資格ヲ具備スルコトヲ要ス
一年齡男子ハ滿十七年以上女子ハ滿十六年以上ナルコト

二 身體健全ナルコト

三 品行方正ナルコト

四 現ニ中學校若ハ高等女學校ニ在學セサルコト

第三條 檢定ヲ分テ試驗檢定、無試驗檢定ノ二トシ試驗檢定ハ官立、公立ノ中學校若ハ修
業年限四箇年以上ノ高等女學校ニ於テ便宜之ヲ行ヒ無試驗檢定ハ當該專門學校ニ於テ生

徒入學ノ際之ヲ行フ

第四條 試験検定ノ學科目及其ノ程度ハ中學校若ハ修業年限四箇年ノ高等女學校ノ各學科目及其ノ卒業ノ程度トス但シ中學校若ハ高等女學校ニ於テ加除シ又ハ課セサル事ヲ得ル學科目ハ之ヲ省ク

第五條 官立、公立ノ中學校若ハ高等女學校ニ於テハ試験検定ニ合格シタル者ニハ試験検定合格證書ヲ交付スヘシ

第六條 官立、公立ノ中學校若ハ高等女學校ニ於テハ試験検定手數料ヲ徵收スルコトヲ得
箇年以上保存スヘシ

第七條 官立、公立ノ中學校若ハ高等女學校ハ試験検定手數料ヲ徵收スルコトヲ得

第八條 左ニ掲タル者ハ無試験検定ヲ受クルコトヲ得

一、文部大臣ニ於テ専門學校ノ入學ニ關シ中學校若ハ修業年限四箇年ノ高等女學校ノ卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定シタル者

六、文部省直轄諸學校官制(抄)

明治二十六年八月
勅令第八十六號

第一條 文部省直轄諸學校左ノ如シ

東京高等師範學校	廣島高等師範學校
東京女子高等師範學校	奈良女子高等師範學校
盛岡高等農林學校	鹿兒島高等農林學校
上田蠶絲專門學校	東京高等蠶絲學校
京都高等商業學校	東京高等商業學校
神戶高等商業學校	長崎高等商業學校
山口高等商業學校	小樽高等商業學校
第一高等學校	第二高等學校
第三高等學校	第四高等學校
第五高等學校	第六高等學校
第七高等學校造士館	第八高等學校
新潟高等學校	松本高等學校

山口高等學校	松山高等學校
千葉醫學專門學校	岡山醫學專門學校
金澤醫學專門學校	長崎醫學專門學校
新潟醫學專門學校	東京高等工業學校
大阪高等工業學校	京都高等工藝學校
名古屋高等工業學校	熊本高等工業學校
米澤高等工業學校	桐生高等染織學校
秋田鐵山專門學校	東京外國語學校
東京美術學校	東京音樂學校
東京盲學校	東京聾啞學校
第六條 文部省直轄諸學校ニ左ノ職員ヲ置ク	
校長	
助教授	
書記	

- 生徒監
助教授
書記
- 第七條 校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス
- 第八條 教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル
- 第九條 生徒監ハ奏任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス
- 生徒監ハ校長ノ指揮ヲ承ケ専ラ生徒ノ訓育ヲ掌ル
- 第十條 書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ從事ス
- 第十七條 專任教官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得ナル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若ハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得
- 第十九條 文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員會ヲ設クルコトアルヘシ其ノ委員ハ文部大臣之ヲ命ス

七、文部省直轄諸學校職員定員令(抄)

明治三十五年三月
勅令第九十九號

文部省直轄諸學校專任職員ノ定員左ノ如シ

松本高等學校	校長	教授	教諭	助教授	助教諭	訓導	保姆	助手	書記
	一人	十六人	一	一	一	一	一	一	三人
									大正八年四月勅令 第百十二號改正

八、文部省直轄學校外國人特別入學規程

明治三十四年十一月
文部省令第十五號

第一條 外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス所定ノ學科ノ一科若ハ數科ノ教授ヲ受ケントスル者ハ外務省、在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介アルモノニ限リ特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條 前條ニ依リ教授ヲ受ケントスル外國人ハ前條ノ紹介書ヲ添ヘ帝國大學總長若ハ學校長ニ願出ツヘシ

第三條 帝國大學總長若ハ學校長ニ於テ前條ノ出願ヲ受ケタルトキハ相當ノ學力アリト認メタル者ニ限リ之ヲ許可スヘシ但シ學校ノ設備上差支ヘアル場合ハ此ノ限リニアラスルコトヲ得

第四條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケントスル者ニハ試験ノ上之ヲ附與スヘシ

第五條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニハ入學試驗料、入學料及授業料ヲ徵收セサルコトヲ得

第六條 帝國大學總長及學校長ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

附 則

第七條 本令施行ノ際文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス在學スル外國人ハ本令ニ依リ入學シタルモノト看做ス

第八條 明治三十三年文部省令第十一號文部省直轄學校外國委託生ニ關スル規程ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

九、臺灣、朝鮮人文部省直轄諸學校入學ハ外國人特別入學規程準用

明治四十四年四月
文部省訓令第十六號

文部省直轄學校外國人特別入學規程ハ臺灣人若ハ朝鮮人ニ之ヲ準用ス但シ其ノ入學ニ關シテハ臺灣總督府又ハ朝鮮總督府ノ紹介ヲ要ス

十、文部省直轄學校中ノ二個以上ノ學科專門部若ハ學校ニ

入學出願者ノ入學スヘキ學校

明治四十三年九月 文部省告示第二百十三號

同一大ニシテ東京帝國大學農科大學農學實科、同林學實科、同獸醫學實科、東北帝國大學農科大學豫科、同附設農學實科、同附設土木工學科、同附設林學科、同附設水產學科東北帝國大學附屬專門醫學部、同附屬工學專門部竝文部省直轄諸學校中ノ二個以上ノ學科專門部若ハ學校ニ入學ヲ出願シタル者ハ其ノ最前ニ入學ヲ許可セラレタル學科專門部若ハ學校ニ入學スヘキモノトス但シ同時ニ二個以上ノ學科專門部若ハ學校ニ入學ヲ許可セラレタル者ノ入學スヘキ學科專門部若ハ學校ハ本人ノ選擇ニ任ス

十一、文部省直轄諸學校生徒ノ學校長ノ許可ナクシテ受ケタル

他ノ直轄諸學校入學試驗無効ニ關スル規定

明治三十八年十月 文部省令第十八號

文部省直轄諸學校ノ生徒ニシテ豫メ學校長ノ許可ヲ受ケヌ他ノ文部省直轄諸學校ノ入學試

驗ヲ受ケタルトキハ其ノ入學試驗ハ無効トス

十二、帝國大學及文部省直轄諸學校雇外國人使用ニ關スル規定

明治二十六年九月 勅令第九十六號

帝國大學及文部省直轄諸學校ニ於テ學科教授ノ必要アルトキハ帝國大學總長及直轄諸學校長ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ雇外國人ヲシテ教官ノ職務ニ當ラシムルコトヲ得

第四 學則

第一 總則

第一條 本校ハ大正七年勅令第三百八十九號高等學校令第一條ニ基キ男子ノ高等普通教育ヲ完成スルヲ以テ目的トシ特ニ國民道德ノ充實ニ力ムルモノトス

第二條 本校ニハ高等科ヲ置キ之ヲ分チテ文科及理科トス

第三條 本校ノ修業年限ハ三年トス

第二 學科課程

第四條 本校各科ノ學科目及教授時數ハ大正八年三月文部省令第八號高等學校規程第一章

第二節ニ依ル

各科ノ學科目、程度及毎週教授時數左ノ如シ

文科

修身 道徳ノ要領、國家、社會及家族ニ對スル責務、人格修養ニ關シ必要ナル事項、我國民道德ノ體得

國語及漢文 近世、近古、中古ノ國文及上古文一般、普通漢文ノ講讀、國語文法、

國文學史大要、作文

第一外國語 發音、綴字、讀方、譯解、話方、作文、書取、文法

第二外國語 發音、綴字、讀方、譯解、話方、作文、書取、文法

歴史 日本歴史、東洋歴史、西洋歴史

地理 我國及諸外國ノ政治、經濟等ニ關スル地理上ノ事項

哲學概說 東洋及西洋ノ哲學、宗教等ニ就キテ其ノ大要

心理及論理 精神作用、思考ノ原則方法ノ概要

法制及經濟 帝國憲法ノ大要、日常生活ニ適切ナル法制上及經濟財政上ノ事項

數學 數學諸論ノ大要

自然科學 生物、地質、物理、化學等ニ關スル主要ナル事項

體操 教練、體操（劍道、柔道）

理科

修身 道徳ノ要領、國家、社會及家族ニ對スル責務、人格修養ニ關シ必要

ナル事項、我國民道德ノ體得

國語及漢文 近世及近古ノ國文、普通漢文ノ講讀、作文

第一外國語 發音、綴字、讀方、譯解、話方、作文、書取、文法

第二外國語 發音、綴字、讀方、譯解、話方、作文、書取、文法

數學 代數、立體幾何、三角法、初等解析幾何、初等微分積分、初等力學

物理 力學、物性、音響、熱、光、磁氣、電氣、主要ナル實驗

化學 無機化學、有機化學、主要ナル實驗

植物及動物 生物ノ形態、生理、分類、進化、主要ナル實驗

礦物及地質 矿物ノ產狀、性質、用途、地球ノ構成及變遷、主要ナル實驗

心 理 精神作用ノ概要

法制及經濟 帝國憲法ノ大要、日常生活ニ適切ナル法制上及經濟財政上ノ事項

圖 畫 自在畫、平面幾何畫、立體幾何畫

體 操 教練、體操（劍道、柔道）

外國語ハ英語又ハ獨語トス

第二外國語ハ隨意科目トス

體操ニハ剣道又ハ柔道ヲ加フルコトアルヘシ

學科目	學年	第一學年			第二學年			第三學年		
		修	身	一	一	一	一	一	一	一
國語及漢文		六								
		五								

第一外國語		九		八		八		八		八
第二外國語		(四)								
歷 史		三		五		四				
地 理		二								
哲 學 概 說										
心理及論理										
法制及經濟										
數 學										
自然科學										
體 操										
計	(一九)									

第一外國語ハ高等學校尋常科又ハ中學校ニ於テ生徒ノ履修シタル外國語トス但シ生徒ノ

志望ニ依リ第一外國語ノ種類ヲ轉換スルコトヲ得シム此ノ場合ニ於テハ各學年ニ於ケル
第一外國語及第二外國語ノ毎週教授時數ハ左表ニ依ル

學科目	學年	第一學年			第二學年			第三學年		
		第一	第二	第三	第一	第二	第三	第一	第二	第三
第一外國語	一				一			一		
第二外國語	(三)				(三)			(三)		
計	(三四)				(三四)			(三四)		

學科目	學年	第一學年			第二學年			第三學年		
		第一	第二	第三	第一	第二	第三	第一	第二	第三
修身	一				一			一		
國語及漢文	四				二			一		
第一外國語	八				六			六		
第二外國語	(四)				(四)			(四)		

數學	四									
物理學	四									
化學	三									
礦物及地質	二									
植物及動物	二									
心理	二									
法制及經濟	二									
體操	三									
圖畫	二									
計	(三二)									

第三學年ノ數學〔二〕及圖畫〔二〕ト第三學年ノ植物及動物〔講義二實驗二〕トハ生徒ヲシテ
其ノ一ヲ選擇セシム

第一外國語ハ高等學校尋常科又ハ中學校ニ於テ生徒ノ履修シタル外國語トス但シ生徒ノ志望ニ依リ第一外國語ノ種類ヲ轉換スルコトヲ得シム此ノ場合ニ於テハ各學年ニ於ケル第一外國語及第二外國語ノ每週教授時數ハ左表ニ依ル

學科目	學年	第一學年	第二學年	第三學年
第一外國語		一〇	九	九
第二外國語		(三)	(三)	(三)
計		(三〇) (三三)	(三一) (三四)	(三一) (三四)

第三 學年、學期、式日及休業日

第五條 學年ハ九月一日ニ始マリ翌年八月三十一日ニ終ル

第六條 學年ハ分チテ三學期トス

第一學期ハ九月一日ヨリ翌年一月七日ニ至ル

第二學期ハ一月八日ヨリ四月七日ニ至ル

第三學期ハ四月八日ヨリ八月三十一日ニ至ル

第七條 紀元節、天長節祝日及一月一日ニハ祝賀ノ式ヲ行フ

第八條 年中休業日左ノ如シ

一日 曜日

一秋季皇靈祭 秋 分 日

一神嘗祭 十月十七日

一天長節祝日 十月三十一日

一新嘗祭 十一月二十三日

一冬季休業 (十二月二十五日ヨリ) 一月七日ニ至ル

一紀元節 (二月十一日) 四月一日ヨリ

一春季皇靈祭 春 分 日

一春季休業 (四月七日ニ至ル)

一本校創立記念日 四月十五日

一 夏季休業

七月十一日ヨリ
九月十日ニ至ル

第四 入學、在學、休學、退學及懲戒

第九條 入學ノ時期ハ毎學年ノ始ヨリ三十日以内トス
但シ缺員アルトキハ第二學期ノ始ヨリ十日以内ニ臨時入學セシムルコトアルヘシ
第十條 入學ヲ出願スルコトヲ得ル者ハ中學校第四學年ヲ修了シタル者又ハ左ノ各號ノ一
ニ該當スル者トス

- 一 他ノ高等學校尋常科ヲ修了シタル者
- 二 高等學校高等科入學資格試驗ニ合格シタル者
- 三 專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗檢定ニ合格シタル者
- 四 文部大臣ニ於テ高等學校高等科ノ入學ニ關シ指定シタル者
- 五 文部大臣ニ於テ一般ノ專門學校ノ入學ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ノ學力アリ
ト指定シタル者

第十一條 入學ヲ志願スル者ハ入學志願者名票ニ寫真及檢定料ヲ添ヘ本校ニ差出スヘシ

第十二條 檢定料ハ金五圓トス

既納ノ検定料ハ之ヲ返付セス

第十三條 入學志願者ニ對シテ體格検査ヲ行ヒ之ニ合格シタル者ニ限り入學セシム

第十四條 入學志願者ノ數募集人員ニ超過シタルトキハ大正八年四月文部省令第十四號官

立高等學校高等科入學者選拔試驗規程ニ依リ選拔試驗ヲ行フ

第十五條 願ニ依リ本校ヲ退學シタル者一年以内ニ於テ再入學ヲ志願シタルトキハ同一學
年以下ノ學年ニ限リ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第十六條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ指定ノ期日迄ニ入學料金三圓ヲ納付スヘシ
前項ノ手續ヲ了セサルトキハ入學ノ許可ヲ取消ス

既納ノ入學料ハ之ヲ返付セス

第十七條 入學シタル者ハ規定ノ宣誓ヲ爲スヘシ

第十八條 入學シタル者ハ指定ノ期日迄ニ保證人ノ連署セル在學證書(第一號書式)ヲ戸籍
謄本ト共ニ差出スヘシ

宿所ヲ變更シ又ハ戸籍上ニ異動ヲ生シタルトキハ速ニ届出ツヘシ 但シ戸籍上ノ異動ノ場合ニハ戸籍抄本ヲ添付スヘシ

第十九條 保證人ハ二名トス第一保證人ハ父兄トシ父兄ナキモノハ之ニ代リテ其ノ責ニ任スヘキモノタルヘク第二保證人ハ本校所在地又ハ其ノ附近ニ居住シテ一家計ヲ立ツル丁年以上ノ男子タルヘシ但シ第一保證人ニシテ本校所在地又ハ其ノ附近ニ居住スルトキハ第二保證人ヲ要セス

第二十條 本校ニ於テ保證人トシテ不適當ナリト認メタルトキハ之ヲ變更セシムルコトアルヘシ

保證人ノ住所身分氏名等ニ異動アリタル場合ニハ其ノ都度之ヲ届出ツヘシ

第二十一條 疾病又ハ已ムヲ得サル事故ニ由リ缺席シタル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ保證人連署ヲ以テ出校ノ當日ヨリ三日以内ニ届出ツヘシ 但シ疾病ニ由リ七日以上引續キ缺席スルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第二十二條 疾病又ハ已ムヲ得サル事故ニ由リ三箇月以上修學スルコト能ハサル者保證人

連署ノ上休學ヲ願出ツルトキハ其ノ學年間之ヲ許可スルコトアルヘシ 但シ疾病ノ場合ニハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第二十三條 休學ノ許可ヲ得タル者ニハ次學年ノ始ヨリ原級ノ課程ヲ修メシム

第二十四條 休學ハ同一學年ニ於テハ一回ニ限ルモノトス

第二十五條 陸軍又ハ海軍ノ現役ニ服シ若ハ召集ニ應スル者ハ其ノ服役又ハ召集ノ間休學トス

第一項ニ依リ休學シタル者ハ服役滿期又ハ召集解除後直ニ原級ニ復セシム

第一項ニ依ル休學ニハ第二十四條ヲ適用セス

第二十六條 疾病又ハ已ムヲ得サル事故ニ由リ退學セントスル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ保證人連署ノ上許可ヲ願出ツヘシ

第二十七條 左ノ各號ノ一二該當スル者ニハ退學ヲ命ス

一 性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二 學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者

三 引續キ一年以上缺席シタル者

四 正當ノ事由ナクシテ引續キ一箇月以上缺席シタル者

五 出席常ナラナル者

六 授業料寄宿料ノ滯納三十日ニ及フ者

七 二學年ヲ超ユルモ同一學年ニ止ル者

其ノ他學校長ニ於テ退學ニ關シ臨機ノ處分ヲナスコトアルヘシ

第二十八條 校紀ヲ紊亂シ其ノ他生徒タルノ本分ニ背戾スル者ハ之ヲ懲戒ス

懲戒ハ單ニ形跡ニ拘ラス德義ニ基キテ處斷ス

第二十九條 懲戒ハ之ヲ分チテ戒飭、停學、放校トス

第五 成績考査、進級及卒業

第三十條 每學年末其ノ學年ノ成績ヲ考査シテ進級及卒業ヲ定ム。

第三十一條 學年成績ハ學業成績、操行及勤惰ヲ考査シテ之ヲ定ム

第三十二條 學業成績ハ平素ノ學業及試験ノ成績ニ依リテ之ヲ定ム

第三十三條 試験ハ臨時及定期ニ施行ス

臨時試験ハ必要ニ應シ隨時之ヲ行ヒ定期試験ハ每學期末日ヲ定メテ之ヲ行フ

但シ學科目ノ種類ニ依リ試験ヲ行ハサルコトアルヘシ

第三十四條 定期試験ハ各學期末其ノ學期間ニ履修シタル課業ニ就キ之ヲ行フ

第三十五條 學業成績ニ對シ評點ヲ附ス

評點ヲ分チテ學期評點及學年評點トシ各一百ヲ以テ最高點ト定ム

第三十六條 學期評點ハ其ノ學期ニ於ケル各學科目ノ學業成績ニ對シテ之ヲ附ス

學年評點ハ各學期評點ノ和ヲ三ヲ以ヲ除シ之ヲ定ム

各學科目學年評點ノ和ヲ學科目ノ數ヲ以テ除シタルモノヲ學年平均評點ト爲ス

第三十七條 學科目ノ種類ニヨリ評點ノ上ニ於テ一學科目ヲ以テ二學科目トシテ取扱フコトアルヘシ

第三十八條 學年平均評點六十以上ニシテ左ノ各號ノ一二當ル者ハ進級又ハ卒業セシム

一 學年評點六十未滿ノ學科目ナキ者

二 學年評點六十未満ノモノ一學科目アルモ其ノ評點四十以上ノ者

三 學年評點六十未満ノモノ二學科目アルモ其ノ評點一學科目四十以上他ノ一學科目五十以上ノ者

四 學年評點六十未満ノモノ四學科目アルモ其ノ評點何レモ五十以上ノ者

第三十九條 操行及勤惰ノ狀況ニ於テ不良ナリト認ムルトキハ前條ノ規定ニ拘ラス原級ニ止ムルコトアルヘシ

第四十條 正當ノ事由アリテ試験ニ缺席シタル者ノ學期評點ハ當該學期ニ於ケル平素ノ學業成績及他ノ學期ノ學業成績ヲ參酌シテ之ヲ定ム

第四十一條 卒業ノ席次ハ各學年ノ成績ヲ平均シタルモノヲ以テ之ヲ定ム

第四十二條 所定ノ課程ヲ履修シ卒業シタル者ニハ卒業證書(第二號書式)ヲ授與ス

第四十三條 成績考査、進級及卒業ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第六 特待生

第四十四條 品行方正、成績優等ナル者ニ就キ若干名ヲ選拔シテ一學年間特待生トス

第四十五條 特待生ハ每學年ノ終ニ於テ學校長之ヲ選定ス

第四十六條 特待生ニ對シテハ授業料ヲ免除ス

第四十七條 特待生ニシテ其ノ資格ヲ缺キタル者ト認ムルトキハ直ニ其ノ特待生タルコトヲ止ム

第七 授業料

第四十八條 授業料ハ一學年金三十五圓トス

第四十九條 授業料ハ各學期ニ分納スヘシ

各學期ノ分納金額及納付定日左ノ如シ

第一學期	金十五圓	納付定日	九月十五日ヨリ 同月二十五日ニ至ル
第二學期	金十圓	納付定日	一月十五日ヨリ 同月二十五日ニ至ル
第三學期	金十圓	納付定日	四月十五日ヨリ 同月二十五日ニ至ル

第五十條 授業料ハ缺席、停學等ノ爲メ之ヲ免除スルコトナシ 但シ第二十五條ニ依リ休學スル者ニ對シテハ次學期以降ノ分納額ヲ免除シ其ノ他ノ休學者ニハ其ノ半額ヲ免除ス

第五十一條 既納ノ授業料ハ之ヲ返付セス

第五十二條 轉學、退學又ハ放校ノ場合ト雖モ其ノ學期ノ授業料分納額ハ之ヲ納付セシム

第五十三條 臨時入學シタル者又ハ特待生タルコトヲ止メラレタル者ノ授業料ハ其ノ學期ノ分ヨリ之ヲ納付セシム

第八 服 制

第五十四條 生徒ハ本校制定ノ被服ヲ着用スヘシ

但シ新入學ノ生徒ニアリテハ入學ノ日ヨリ三十日以内ハ此ノ限リニアラス

第五十五條 服制ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第九 寄宿舎

第五十六條 本校ニ寄宿舎ヲ置ク

第五十七條 寄宿舎ハ毎年九月ニ開キ翌年七月ニ閉ツ 期日ハ其ノ都度之ヲ定ム

第五十八條 自宅ヨリ通學スル者及適當ナル宿所ヲ有スル者ノ外ハ寄宿舎ニ入ルヘキモノトス

第五十九條 入舍セントスル者ハ入舍願(第三號書式)ヲ差出スヘシ

第六十條 寄宿生ハ濫リニ退舍スルコトヲ許サス

第六十一條 寄宿料ハ一箇月金一圓トス毎月定日ニ納付スヘシ

既納ノ寄宿料ハ之ヲ返付セス

第六十二條 疾病又ハ其ノ他ノ事情ニ由リ必要アリト認ムルトキハ退舍セシムルコトアルヘシ

第六十三條 寄宿舎ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第十 圖書及器械

第六十四條 本校ノ圖書ハ之ヲ圖書室ニ置ク

第六十五條 本校ハ所藏圖書ノ外他ノ委託ニ係ル圖書ヲ保管スルコトアルヘシ

第六十六條 圖書ヲ閱覽スルコトヲ得ル者ハ本校職員及生徒其ノ他ニ學校長ノ許可ヲ得タル者トス

第六十七條 本校ノ學術用器械ハ各所屬教室ニ置ク

第六十八條 圖書、器械ノ教授上必要ナルモノハ之ヲ生徒ニ貸付スルコトアルヘシ

第六十九條 借受ケタル圖書、器械ハ他人ニ轉貸スルコトヲ許サズ

第七十條 借受ケタル圖書、器械ハ毎學年ノ終リニ於テ指定ノ期日迄ニ返納スヘシ
但シ時宜ニ依リ隨時返納セシムルコトアルヘシ

第七十一條 本校ノ圖書、器械ヲ紛失又ハ毀損シタルトキハ同一ノ物品ヲ以テ之ヲ償ハシ
メ又ハ其ノ修理ヲ負擔セシムルコトアルヘシ

第七十二條 圖書及器械ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

書式

第一號書式

金參錢
收入印紙

在學證書

〔用紙美濃紙〕

私儀今般御校へ入學御許可相成候ニ付テハ御校在學中ハ規則命令ヲ遵守可
致ハ勿論御校學籍ヲ脱シ候後ト雖モ在學中ニ生シタル一切ノ義務ハ違背ナ
ク履行可致候仍テ保證人連署ノ上證書如斯候也

年 月 日

現住所

氏名^印
何年何月何日生

第一保證人

本籍族稱

現住所

本人ニ對スル關係

第二保證人

本籍族稱

現住所

何年何月何日生

本人ニ對スル關係

氏 何年何月何日生

名印

松本高等學校長氏名殿

第二號書式

卒業證書

道府縣族稱

氏 何年何月何日生

右者本校ニ於テ高等科文理科ノ課程ヲ修メ正ニ其業ヲ卒ヘタリ仍テ之ヲ證ス

年 月 日

學校印

松本高等學校長位勳氏名印

第三號書式

入舍願

私儀今般御校寄宿舍ニ入舍致度候ニ付御許可相成度此段相願候也

年 月 日 科 年 組

名印

松本高等學校長氏名殿

第五 生徒心得

本校生徒タルモノハ教育ニ關スル 勅語ノ 聖旨ヲ奉體シテ其ノ本分ヲ全ウセンコトヲ期シ左ノ條々ヲ服膺スヘシ

一、徳ヲ成シ智ヲ啓キ身體ヲ強健ニシ立身報國ノ基ヲ建ツヘシ
二、思想ヲ堅實ニシ操守ヲ嚴正ニシ醇厚眞摯ノ風ヲ致スヘシ

一、校則ヲ遵守シ師友ヲ敬愛シ和衷協同ノ實ヲ擧クヘシ

附 則

生徒心得ノ趣旨ヲ體シ如何ナル場合ニ於テモ苟モ本校生徒タル體面ヲ汚スカ如キ言行アル
カラサルハ勿論常ニ左ノ各項ヲ心得ヘシ

- 一、校舍内ニ在リテハ所定ノ場所以外ニ於テ飲食喫煙スヘカラス
- 二、諸願届書類ハ總テ學級主任ノ承認ヲ經テ教務課へ差出スヘシ
- 三、達示告示等ハ直チニ知了シタルモノト認ムルヲ以テ常ニ掲示場ニ注意スヘシ
- 四、生徒掲示ヲナサントスルトキハ豫メ生徒監ノ許可ヲ受クヘシ
- 五、本校ノ建物及器物ヲ毀損シ又ハ汚染スヘカラス若シ之ヲ爲シタルトキハ辨償セシム
ルコトアルヘシ
- 六、本校生徒ハ學校長ノ許可ヲ受クルニアラサレハ他學校ノ入學試験ヲ受クルコトヲ得
ス

集會ニ關シテハ左ノ各項ノ規定ニ依ルヘシ

- 七、集會ヲナサントスルトキハ代表者ヲ定メ集會ノ目的、種類、時日、場所等ヲ具シテ
豫メ生徒監へ願出ツヘシ
- 八、集會ノタメ本校々舍ヲ借用セントスルトキハ生徒監へ願出ツヘシ
- 九、定期ノ集會、學術、運動等ノ會ヲ創設セントスルトキハ生徒監ニ届出ツヘク之ヲ解
散シタルトキハ生徒監ニ届出ツヘシ
- 十、集會ハ休業日若ハ放課後ニ於テ之ヲ開クヘシ
- 十一、本校生徒ニシテ本校生徒以外ノ者ト共ニスル集會モ以上ノ規定ニ準スヘシ
通學生徒ハ左ノ各項ニ注意スヘシ
- 十二、毎學期始業後十日以内ニ必ス宿所ヲ届出ツヘシ
- 十三、轉宿シタルトキハ轉宿ノ當日ヨリ三日以内ニ其ノ宿所ヲ届出ツヘシ
- 十四、本校ニ於テ不適當ト認メタル宿所ハ之ヲ變更セシム

第六 細則

一、成績考査、進級及卒業ニ關スル細則

第一條 學科目ノ種類ニヨリ評點ニ關シテ一學科目ヲ以テ一學科目若ハ二學科目トシテ取扱ヒ之ヲ評點學科目ト名ク

各評點學科目ノ評點ハ一百ヲ以テ最高點トス

第二條 學期評點、學年評點、學年總評點及學年平均評點ハ評點學科目及其ノ數ニ基キテ之ヲ定ムルモノトス

第三條 各學年ニ於ケル評點學科目ノ數ヲ定ムルコト左ノ如シ

評點學科目數

	第一學年		第二學年		第三學年	
	文甲	文乙	理甲	理乙	文甲	文乙
修 身	一	一	一	一	一	一
國語及漢文	二	二	二	二	二	二

植物及動物 學	化 物 理	自然 科 學	數 學	法 制 及 經 濟	心 理 及 論 理	哲 學 概 說	地 理	歷 史	獨 語	英 語
一		一	一			一	一	一	二	一
一		一	一			一	一	二	一	二
一		二	一					一	二	一
一		二	一					一	二	一
一		一	一				二	二	一	二
一		一	一				二	二	一	二
一		二	一				一	一	一	二
一		二	一				一	一	一	二
一		二	一				一	一	一	二
〔二〕	二	二	〔二〕	〔二〕						
〔二〕	二	二	〔二〕	〔二〕						

鑄物及地質		心	理	圖	體	操	畫	心	理	圖	體	操	畫
評點學科	計	一一											

〔一〕	〔二〕												
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

第四條 教員ハ毎學期末其ノ受持學科目ニ關スル生徒ノ學業成績ヲ規定ノ用紙ニ記入ノ上
教務課ニ提出スヘシ

第五條 各學科目學年評點ノ和ヲ以テ次學年ニ於ケル各學級生徒ノ席次ヲ定ム

二、服制ニ關スル細則

一、生徒ハ本校制定ノ被服ヲ著用スヘシ
但シ新入學ノ生徒ニ在リテハ入學ノ日ヨリ三十日以内ハ制服ヲ着用セサルコトヲ得

一、生徒ノ被服ヲ規定スルコト左ノ如シ

冬服	
製式	立襟
品質	絨（ヘル若ハ小倉織ノ類）
色	濃紺又ハ黒
鈕釦	真鍮（本校所定ノモノ）
製式	丸形
品質	羅紗
前章	帽章（本校所定ノモノ）
横章	白線（幅二分）二條
眼庇	黒革
頤紐	黒革（幅三分五厘）

略 帽

製式

麥 藥

緑大凡三寸、高大凡二寸五分、
鉢巻黒布巾大凡一寸五分

品質

革 又 ハズツク

靴

黑

品質

綿布又ハ羅紗

製式

卷脚絆

品質

黑

色

乘馬形

製式

外 套

品質

羅 紗

色

黑

色

冬服ニ同シ

前面十個
背面三個

色

黑

色

冬服ニ同シ

前面十個
背面三個

- 第一條 本校ニ圖書閱覽室ヲ設ク
- 第二條 閱覽室ハ學年ノ始ニ開キ其ノ終ニ閉ツ
- 第三條 開閉ノ時日ハ其ノ都度之ヲ揭示ス

日曜日、祝日、大祭日、式日ニハ閱覽室ヲ閉ツ

第四條 教員ハ圖書室ニ入りテ検索スルコトヲ得ス

第五條 各學科又ハ各課主任ハ必要ナル圖書ヲ借受ケ之ヲ教員室特別教室又ハ事務室ニ備付クルコトヲ得

第六條 生徒ハ學則第六十六條ニ依リ圖書ノ貸付ヲ受クルコトヲ得此ノ場合ニハ教員ノ承認ヲ經ルヲ要ス

第七條 圖書ハ教員ノ外一人三部十冊以内ヲ借用スルコトヲ得
但シ必要ニヨリ此ノ貸出數ヲ増減スルコトアルヘシ

第八條 圖書ヲ借覽セントスルモノハ圖書課ニ就キ所定ノ證書ニ所要ノ事項ヲ記入シ捺印
ノ上之ヲ係員ニ差出スヘシ

第九條 貴重圖書委托圖書並ニ特別備付ノ圖書ハ圖書室外ニ携出スルコトヲ許サス

第十條 生徒竝ニ學則第六十四條ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ閱覽室ニ於テ圖書ヲ借覽セントスルモノニハ圖書閱覽票ヲ交付ス閱覽票ハ他人ニ轉貸スルヲ許サス之ヲ紛失シタル時

ハ直ニ圖書課ニ届出ツヘシ

第十一條 前條ノ閱覽者ハ第八條ノ手續ヲ履ミ同時ニ圖書閱覽票ヲ差出スヘシ
借覽圖書ヲ返納シタル時ハ閱覽票ノ返付ヲ受クヘシ

第十二條 前條ノ手續ヲ以テ借覽シタル圖書ハ閱覽室外ニ携出スルコトヲ得ス

第十三條 借受ケタル圖書ハ轉貸スルヲ許サス又同一ノ圖書ハ一部ノ外ハ借受クルコトヲ
得ス

第十四條 借覽圖書ハ毎學年ノ終ニ於テ指定ノ期日マテニ返納スヘシ
但シ隨時返納セシムルコトアルヘシ

第十五條 借用シタル圖書ハ鄭重ニ取扱フヘシ毀損又ハ紛失シタルモノニハ學則第六十九
條ヲ適用ス

第十六條 閱覽室ニ入ル者ハ左ノ各號ニ注意スヘシ

一、喫煙・談話・音讀等スヘテ他ノ閱覽者ノ妨害トナルヘキ行爲アルヘカラス

二、制服又ハ袴ヲ著用スヘシ

三、卓子・椅子等備付物品ノ位置ヲ變更スヘカラス

第十七條 總テ不都合ノ行爲アリタル時ハ圖書ノ閱覽ヲ停止スルコトアルヘシ

第十八條 學則第六十三條ニ據リ圖書ノ保管ヲ委托セントスルモノハ其ノ圖書名・著(編、
譯)者名・裝訂別・冊數及見積價格ヲ具シ委托期限ヲ定メテ學校長ノ承諾ヲ受クヘシ

第十九條 委托圖書ニハ保管證書ヲ交付ス但シ火災盜難其ノ他ノ事故ニ由リ委托圖書ニ
損害ヲ生スルコトアリトモ本校ハ其ノ責ニ任セス

四、學級編制

第一條 學級ハ每學年ノ始ニ編制シ之ヲ文(理)科第一(二(三)學年甲(乙)組ト稱ス)

第二條 各學級ニ學級主任一名ヲ置ク

第三條 各學級ニ總代二名ヲ置ク

五、學級主任

第一條 學級主任ハ教員中ニ就キ學校長之ヲ命シ其ノ任期ハ一學年間トス

第二條 學級主任ハ當該學級ヲ統率シ所屬生徒ノ學業、操行、勤惰及健康ニ留意シ其ノ本分ヲ完ウセシメンコトヲ期スヘシ

第三條 學級主任ハ所屬生徒ヨリ差出スヘキ願届書ヲ審査スヘシ

第四條 學級主任ハ所屬生徒ノ缺課度數、缺席日數及遲刻度數ノ調査ノ結果ヲ學年ノ終ニ於テ成績考査ノ参考ニ供スヘシ

六、生徒總代

第一條 生徒總代ハ其ノ學級生徒ヲシテ候補者ヲ互選セシメ其ノ中ニ就キテ學校長之ヲ命スルヲ常例トス其ノ任期ハ一學年間トス

但シ選舉ヲ行ハス學級主任ノ推薦ニヨリ學校長之ヲ命スルコトアルヘシ

第二條 生徒總代ハ其ノ學級ノ代表者トシテ學級主任指導ノ下ニ其ノ學級ノ秩序ニ注意シ學校ノ命令ヲ傳達シ其ノ他諸般ノ要務ニ任スルモノトス

七、修學旅行、行軍

第一條 生徒學術上實地見學ノ爲メ毎學年一回修學旅行ヲ施行ス

第二條 修學旅行ハ其ノ日數ヲ三泊以内トシ時期、方法等ハ其ノ都度之ヲ定ム

第二條 教練實地演習ノ爲メ行軍ヲ施行スルコトアルヘシ

第四條 行軍ハ一日トシ其ノ時期、方法等ハ其ノ都度之ヲ定ム

第五條 生徒ハ左ノ修學旅行費ヲ授業料ト同時ニ本校會計課ニ納付スヘシ

第一學期九月 修學旅行費金壹圓五拾錢

第二學期一月 修學旅行費金壹圓五拾錢

第三學期四月 修學旅行費金壹圓五拾錢

第六條 修學旅行施行ノ際其ノ費用ニ不足ヲ生シタルトキハ更ニ之ヲ參加生徒ヨリ徵收シ
剩餘ヲ生スルトキハ之ヲ次學年修學旅行費ニ繰入ル、モノトス

第七條 第一條ノ場合以外ニ於テ行軍又ハ生徒一般ニ關スル事業ニシテ費用ヲ要スルモノ
アルトキハ修學旅行費中ヨリ之ヲ支辨スルコトアルヘシ

第八條 正當ノ事由ナクシテ修學旅行又ハ行軍ニ缺席シ又ハ修學旅行費ノ滯納三十日ニ及
フトキハ相當ノ處分ヲ爲スヘシ

八、教員會議

第一條 重要ナル校務ヲ審議スルカ爲メニ教員會議ヲ開ク

第二條 教員會議ハ教員ノ全部又ハ其ノ一部ヲ以テ之ヲ組織シ學校長ノ旨ヲ受ケテ校務ヲ
審議スルモノトス教員全部ヲ以テスル教員會ハ毎月一回以上之ヲ開キ、其ノ一部ヲ以テ
スルモノハ必要ニ應シ隨時之ヲ開クモノトス

第三條 前條ノ外文科教員會議及理科教員會議ヲ開キ夫々文科若ハ理科ノ教授受持ノ教員
ヲ以テ之ヲ組織ス

第四條 教員ハ教員會議ニ附セント欲スル事項アルトキハ學校長ニ申出ツルコトヲ得

九、事務分掌規程

第一條 本校ニ教務課、生徒課、圖書課、庶務課及會計課ヲ置キ事務ヲ分掌ス

第二條 各課ニ主任ヲ置キ職員中ニ就キ學校長之ヲ命ス

第三條 各課主任ハ學校長ノ命ヲ受ケ分掌事務ヲ整理ス

第四條 各課所屬ノ職員ハ主任ノ指揮ヲ受ケ事務ニ從事ス

第五條 教務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌理ス

一、學科課程ニ關スルコト

二、教官ノ學科目擔任及日課配當ニ關スルコト

三、授業及休業ニ關スルコト

四、教科用圖書ニ關スルコト

五、試業、進級、卒業及成績證明ニ關スルコト

六、學力検定ニ關スルコト

- 七、生徒ノ入學、休學及退學ニ關スルコト
八、學級ノ編成ニ關スルコト
九、教室及教授上ノ設備ニ關スルコト
十、修學旅行、行軍ニ關スルコト
十一、生徒ノ志望學科ニ關スルコト
十二、教官會議ニ關スルコト
十三、參觀人取扱ニ關スルコト
十四、以上ノ外教務ニ關スル一切ノ事項
- 第六條 生徒課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌理ス
- 一、生徒ノ訓育及風紀ニ關スルコト
 - 二、生徒ノ勤惰ニ關スルコト
 - 三、生徒ノ兵役ニ關スルコト
 - 四、生徒ノ懲罰ニ關スルコト

- 五、生徒ノ服裝取締ニ關スルコト
六、生徒ノ宿所調査ニ關スルコト
七、生徒ノ集會ニ關スルコト
八、生徒ノ控所ニ關スルコト
九、身體検査ニ關スルコト
十、體育及運動ニ關スルコト
十一、寄宿舍内各室ノ設備ニ關スルコト
十二、生徒ノ入舍、退舍及外宿、旅行、歸省等ニ關スルコト
十三、寄宿舍ノ警備取締及衛生ニ關スルコト
十四、舍費、食費ニ關スルコト
十五、寄宿舍ノ出入商人ニ關スルコト
十六、以上ノ外生徒及寄宿舍取締ニ關スル一切ノ事項
- 第七條 圖書課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌理ス

- 一、圖書ノ保管整理及出納ニ關スルコト
- 二、圖書印ヲ保管スルコト
- 三、圖書購入ニ關スルコト
- 四、圖書目錄編纂ニ關スルコト
- 五、圖書貸付ニ關スルコト
- 六、閱覽室及書庫ニ關スルコト
- 七、新聞、雜誌、年報、一覽等ノ保管、整理及出納ニ關スルコト
- 八、以上ノ外圖書取扱ニ關スル一切ノ事項

第八條 庶務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌理ス

- 一、御眞影及勅語ノ保管ニ關スルコト
- 二、學校長ノ官印及校印ヲ保管スルコト
- 三、文書ノ接受發送ニ關スルコト
- 四、職員ノ進退身分及服務ニ關スルコト

五、職員ノ叙位叙勳ニ關スルコト

- 六、雇外國教師ニ關スルコト
- 七、生徒ノ學籍ニ關スルコト
- 八、規則ノ制定及變更等ニ關スルコト
- 九、一覽、年報、統計及官報報告ニ關スルコト
- 十、儀式ニ關スルコト
- 十一、宿直ニ關スルコト
- 十二、寄贈ニ關スルコト
- 十三、以上ノ外他課ノ分掌ニ屬セサル一切ノ事項

第九條 會計課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌理ス

- 一、歲入、歲出、豫算及決算ニ關スルコト
- 二、資金ニ關スルコト
- 三、金錢ノ收支及勘定ニ關スルコト

- 四、物品ノ購入及拂下ニ關スルコト
 五、物品ノ出納及保管ニ關スルコト
 六、土地及建物ニ關スルコト
 七、建築及修繕ニ關スルコト
 八、電燈、電話、給水及爐火ニ關スルコト
 九、金錢物品ノ諸帳簿調製ニ關スルコト
 十、校内ノ警備、取締及洒掃ニ關スルコト
 十一、傭人ノ進退及取締ニ關スルコト
 十二、以上ノ外會計ニ關スル一切ノ事項

第十條 各課ノ分掌事務ニシテ他課ニ關スルモノハ合議スヘキモノトス

第十一條 各課所屬ノ職員ハ擔任事務ノ外必要ニ應シ他課ノ事務ヲ補助スヘキモノトス

第七 職 員

學 校 長		
教 授		
獨	語	正五位 勳四等 文學士 茨木 清次郎 石川
英	語	從五位 勳六等 文學士 橋本 忠夫 平宮城
英	語	正六位 文學士 八木 又三 平山口
地理、西洋歴史		正六位 文學士 松本 美禰嘉衛 七平兵庫
國語及漢文		從六位 文學士 岩佐 重一 平和歌山
獨	語	正七位 文學士 小野澤百八 福井
數	學	正七位 文學士 谷内 真夫 平群馬
修	身	正七位 文學士 重原慶信 平京都
日本歴史、東洋歴史		高知 民縣 民府 民縣 族縣 平石川
植物及動物		士高 民縣 民府 民縣 族縣 平和歌山
生物		千木

國語及漢文 正七位 文學士 安藤圓秀 平愛知民縣
獨語、心理及論理 從七位 文學士 善浪達童 平神奈川民縣

講師(就職順)

體操 陸軍步兵少佐 從五位 講師 竹次郎 宮城士族縣
自然科學 長野縣松本女子師範學校長 正六位 矢澤米三郎 長野士族縣
體操 陸軍步兵少尉 正八位 合志 惠平東京民府
國語及漢文 鑄物及地質、自然科學 從六位 理學士 淩井郁太郎 東京士族
法制及經濟 法學士 桂木信 次 平東京民府
圖畫(自在畫) 長野縣松本女子師範學校教諭 藤岡龜三郎 平新潟民縣
圖畫(平面幾何畫) 長野縣立松本中學校教諭 松根新八郎 平東京民府
體操 書記 高田哲文哉 平大分民縣

體操

書記

雇員 林僕夫 平和歌山民縣
林 僕夫 平和歌山民縣
久保新吾 熊本縣
久保新吾 熊本縣

從七位 動七等
動七等 從七位

雇員

太田伊豆茂士石川族縣
太田伊豆茂士石川族縣
内藤泰士岡山族縣
内藤泰士岡山族縣
久保新吾 熊本縣
久保新吾 熊本縣

從八等 動八等
動八等 從八等

安藤三郎 平長野民縣
安藤三郎 平長野民縣
和泉陳平 平宮城民縣
和泉陳平 平宮城民縣
宮本楓治 平長野民縣
宮本楓治 平長野民縣

太田伊豆茂士石川族縣
太田伊豆茂士石川族縣
内藤泰士岡山族縣
内藤泰士岡山族縣
久保新吾 熊本縣
久保新吾 熊本縣

文科第一學年甲組
學級主任

教授重原慶信
醫長學校醫

川久保磯太郎 平長野民縣
川久保磯太郎 平長野民縣
橋詰常直 平長野民縣
橋詰常直 平長野民縣

文科第一學年乙組

理科第一學年甲組

理科第一學年乙組

教員 生徒監

教 教 教 教 教
授 授 授 授 小野澤百八
授 授 授 岩佐重一
授 山口真夫
安藤圓秀

事務分課
教務課

主任 生徒課

教 教 教 教
授 谷內正順
太田伊豆茂
久保新吾

主任

圖書課

教 教 教
授 橋本忠夫
諫訪部竹次郎
和宮陳平

主任

庶務課

教 教
授 久保新吾
和泉陳平

主任

會計課

(兼)教員
授 安藤圓秀
授 松本義顯
授 太田伊豆茂
安藤三郎

主 任

書 記 林 傑 夫
記 內 藤 泰

第八 生徒現員

(大正八年九月調)

文科第一學年甲組

鮎川元一郎(千葉)	渥美季次(東京)	池田次郎(長野)
伊藤忠雄(長野)	小倉明(千葉)	折井雄次(長野)
小口三藏(長野)	片倉五郎(長野)	上條勇(長野)
上條憲太郎(長野)	柿澤善四郎(長野)	川上博夫(長野)
神永三四郎(茨城)	木本昭房(奈良)	北原武彦(長野)
熊谷友視(長野)	工藤友惠(長野)	倉下徳永(長野)
草間英一(長野)	倉田一(長野)	倉島至(長野)
小林六之助(長野)	小關直一(千葉)	兒玉福榮(長野)

文科第一學年乙組

曾山忠雄(長野)	瀧清彦(東京)	寺澤一郎(長野)
中澤成美(長野)	那須重徳(長野)	野村豊二(長野)
野々山廣三郎(長野)	藤澤擴(長野)	堀秀彦(石川)
松永修治(岐阜)	増澤茂樹(長野)	宮崎市定(長野)
村井精一(茨城)	森源藏(神奈川)	吉澤文三郎(長野)
渡邊良貞(新潟)		

三枝 守久(東京) 島 幸治(長野) 鈴木 勇(東京)
 竹前 文士(長野) 田島 務三(長野) 田口 雄一(長野)
 田村 次良(東京) 高田 琢磨(東京) 永井 修(千葉)
 原田 和三郎(群馬) 波多野 通敏(長野) 原 和雄(山梨)
 平山 褚(長野) 藤田 清太郎(廣島) 藤野 義夫(新潟)
 松原 尚雄(東京) 宮坂 利明(長野) 百瀬 次重(長野)
 望月 市惠(長野) 吉田 實三(重) 吉岡 進(東京)
 和合 恒男(長野)

理科第一學年甲組

淺川 武男(山梨) 阿部 徹(愛媛) 池田 千壽(長野)
 伊藤 茂利三(靜岡) 今井 與六(長野) 遠藤 敏夫(宮城)
 遠藤 主馬(長野) 太田 戊三(東京) 押田 安之助(東京)
 岡本 一郎(三重) 小口 覚(長野) 萩江 靜雄(長野)

大城 俊彦(沖繩) 小鹽 力(京都) 川口 理(神奈川)
 木村 尚文(東京) 倉田 豊茂(山梨) 小林 幸治(長野)
 小島 信(長野) 小藤 甫(島根) 小林 種樹(北海道)
 佐々憲三(愛知) 膳所正俊(大分) 田中 長男(長野)
 新島 良三(群馬) 西里 信夫(京都) 野本 伯(長野)
 萩原 敏(茨城) 平出鍾一(長野) 久松熊太郎(栃木)
 藤本 紫朗(長野) 増澤 六郎(長野) 三宅 三郎(東京)
 宮澤 勇夫(長野) 百田 治朗(山梨) 森 政勝(長野)
 守屋 愿資(山梨) 橫山 清次(長野) 渡邊 新六(栃木)
 和田 真梶(東京)

理科第一學年乙組

天引 忠定(群馬) 青柳 道夫(長野) 井口 跡(岐阜)
 入江 卓一(東京) 飯野 真澄(山梨) 家永 竹彦(東京)

犬 飼 文 丸(長野)	井 上 信 之 介(北海道)	市 川 信 一(東京)
太 田 敬 三(長野)	大 木 玄 一(栃木)	川 田 貞 雄(茨城)
片 山 尚(長野)	小 平 吉 男(長野)	坂 本 龍 馬(神奈川)
澤 浦 盛 衛(群馬)	關 通 成(長野)	田 中 一 三(群馬)
千 葉 英 一(長野)	成 島 正(山梨)	中 村 留 雄(長野)
善(長野)	林 彌 一郎(岐阜)	藤 井 潤(愛知)
卓 二(徳島)	濱 德 太 郎(長野)	降 旗 金 彌(長野)
六(長野)	持 田 敏 雄(福井)	幡 野 悅 荣(愛知)
美(長野)	山 崎 榮 竜(東京)	矢 澤 浩(長野)
藤 森 寛 美(長野)	山 崎 榮 竜(東京)	松 浦 元 治(群馬)
宮 坂 賀 六(長野)	持 田 敏 雄(福井)	山 岡 直 衛(長野)
山 村 富 士 雄(長野)	山 崎 榮 竜(東京)	與 曾 井 湧 司(長野)
矢 嶋 茂 一(千葉)	横 山 得 美(長野)	
一(長野)		

第九 生徒道府縣別表

茨 城	千 葉	群 馬	新 潟	兵 庫	神 奈 川	京 都	東 京	北 海 道	道府縣			科組		
									甲 組	乙 組	計	文 科	理 科	年 學
二	三		一		一			二						
		一	二	二	一	二		七						
二	四	二	三	一	三			九						
一		一			一		二	五	一					
								四	一					
二	一	四												
二	一	五					二	二	九	二				
四	五	七	三	一	五	二	一	八	二					
														合 計

第九 生徒道府縣別表

福	山	巖	宮	長	岐	山	靜	愛	三	奈	柾
井	形	手	城	野	阜	梨	岡	知	重	良	木
				二八	一					一	
				一八		一	一	一	一		一
				四六	一	一	一	一	一	一	
				一五		四	一	一		二	
				二〇	二	二		一			一
				三五	二	六	一	二	一	三	
				八一	三	七	一	三	二	一	四

九二

第十 生徒年齢別表

(大正八年九月調)

科 文 科	年 年 齡	最 高	最 低	平	均
理 科	第一學年	二三三〇九月			
	二六一一日	一六〇六年			
	一六〇七年	一六〇六年			
	一九〇七年	一九〇六年			
	一九〇三年	一九〇〇年			
總 計	沖繩分	大愛媛島根	德島	島根	石川
四〇					一
四〇					一
八〇					二
四〇		一	一	一	一
四〇				一	
八〇		一	一	一	一
一六〇		一	一	一	二

九三

松本高等學校校友會會則

第一條 本會ハ松本高等學校校友會ト稱シ本校ノ教養ト相俟チテ會員ノ心身ヲ練磨シ相互親睦ヲ厚ウスルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ左ノ二種會員ヲ以テ組織ス

通常會員 本校生徒

特別會員 本校職員

但シ特ニ會長ノ推薦ニヨルモノヲ以テ名譽會員トスルコトアルヘシ
第三條 本會ノ會費ヲ左ノ如ク定ム

通常會員 每學期貳圓トシ授業料ト共ニ納付スルモノトス

特別會員 一定ノ金額ヲ醵出スルモノトス

通常會員ハ入會ノ際入會金貳圓ヲ納ムルモノトス

第四條 本會ニ左ノ諸部ヲ置ク

庶務部	文藝部	講演部	劍道部
柔道部	野球部	庭球部	競走部
山岳部	水泳部	水滑部	音樂部

第五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長 一名 本校校長ヲ推戴ス

副會長 一名 特別會員中ヨリ會長之ヲ委嘱ス

理事長 一名 特別會員ノ理事中ヨリ會長之ヲ委嘱ス

理事 六名 二名ハ特別會員中ヨリ會長之ヲ委嘱ス
四名ハ通常會員ノ互選ニヨリ文科、理科各二名トス

部長 各部一名 特別會員中ヨリ會長之ヲ委嘱ス

委員長 各部一名 各部委員ノ互選ニヨル

委員 各部若干名 通常會員ノ互選ニヨル

主計 三名 本校職員中ヨリ會長之ヲ委嘱ス

但シ庶務部ノ役員ハ會則第八條ノ規程ニヨル

第六條 本會役員ノ任務左ノ如シ

一 會長ハ本會會務ヲ總理ス

一 副會長ハ會長ヲ輔佐シ會長事故アルトキハ之ニ代ル

一 理事長ハ理事主計ノ事務ヲ管理ス

一 理事ハ庶務部ノ事務ヲ處理シ豫算查定ノ任ニ當ル

一 部長ハ其ノ部ノ事務ヲ管理ス

一 委員長ハ其ノ部ノ委員ヲ代表シ其ノ部ノ事務ヲ掌ル

一 委員ハ其ノ部ノ常務ヲ取扱フ

一 主計ハ本會會計ノ事務ニ當ル

第七條 通常會員中ヨリ選出シタル役員ノ任期ハ一年トシ毎年五月改選ヲ行フモノトス

第八條 庶務部ハ理事長、理事及主計ヲ以テ組織シ本會會計庶務其他各部ニ屬セサル一切ノ事務ヲ處理ス

第九條 豫算會ヲ左ノ三種ニ分ツ

豫算說明會

豫算查定會

豫算總會

豫算會ハ會長之ヲ召集シ理事長ヲ以テ議長トス

第十條 豫算說明會ハ理事長、理事、部長、委員長竝ニ各部ノ委員ヨリ選出シタル一名宛ノ代表委員ヲ以テ組織ス

各部ノ委員長ハ其ノ部ノ豫算原案ヲ提出シテ之ヲ説明スルモノトス

第十一條 豫算查定會ハ理事長、理事ヲ以テ組織シ各部ノ豫算案ニ就キ查定ヲ行ヒ豫算總會ニ提出スヘキ豫算原案ヲ作製スルモノトス

第十二條 豫算總會ハ理事長、理事、部長、委員長竝ニ各部委員ヨリ選出シタル一名宛ノ代表委員ヲ以テ組織シ豫算查定會ノ作製シタル豫算案ニ基キテ當該年度ノ豫算ヲ議決スルモノトス

議事ハ過半數ヲ以テ決ス

但シ理事及部長ハ表決權ヲ有セス

第十三條 豫算總會ハ表決權ヲ有スル總員ノ三分ノ二以上出席スルニ非サレハ議事ヲ開ク

コトヲ得ス

第十四條 本會會計規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十五條 本會會則ハ役員總數ノ三分ノ二以上賛成アルニ非サレハ變更スルコトヲ得ス

第十六條 會長ハ豫算會議ノ外必要ニ應シ隨時役員ノ全部若ハ一部ヲ召集シテ會議ヲ開ク
コトアルヘシ

第十七條 各部ノ細則ハ各部ニ於テ之ヲ定メ會長ノ認可ヲ受クヘキモノトス

松本高等學校校友會會計規程

第一條 本會ノ會計年度ハ九月一日ニ始リ翌年八月三十一日ニ終ル

第二條 本會ハ會費ノ全部、入會金總額ノ四分ノ三、基本金ヨリ生スル利子及其ノ他ノ收入ヲ以テ歲入トス

第三條 本會ノ歲出ハ歲入金額ヲ以テ之ニ充テ左ノ二種ニ分ツ

各部經常費 豫備費

第四條 豫備費ハ歲入總額ノ百分ノ五以上十以内トス

第五條 本會ノ歲出豫算ハ每會計年度ノ初メ豫算會ニ於テ之ヲ決議シ會長ノ認可ヲ經テ之ヲ定ム

第六條 各部ノ豫算殘額ハ其部ノ豫備費トス

但シ場合ニヨリ役員總會ノ協賛ヲ經テ其ノ一部若ハ全部ヲ翌年度ノ豫算ニ編入スルコトヲ得

第七條 各部ニ於テ支拂ヲナサントスル時ハ其ノ都度部長ヲ經テ庶務部へ支拂請求書ヲ發スヘシ

第八條 各部ハ九月中ニ其ノ部前年度ノ決算報告書ヲ庶務部ニ差出スヘキモノトス

第九條 庶務部ハ十月末日迄ニ本會前年度歲入歲出決算報告書ヲ發表スヘキモノトス

第十條 本會ノ基本金ハ入會金總額ノ四分ノ一及基本金トシテ特ニ指定セラレタル寄附金ヲ以テ其ノ財源ニ充ツ

大正九年二月十日印刷

大正九年二月十五日發行

編輯兼
松本高等學校

東京市神田區雑子町三十四番地

印刷者 綾部喜久二
印刷所 宮本印刷所

合宿寄

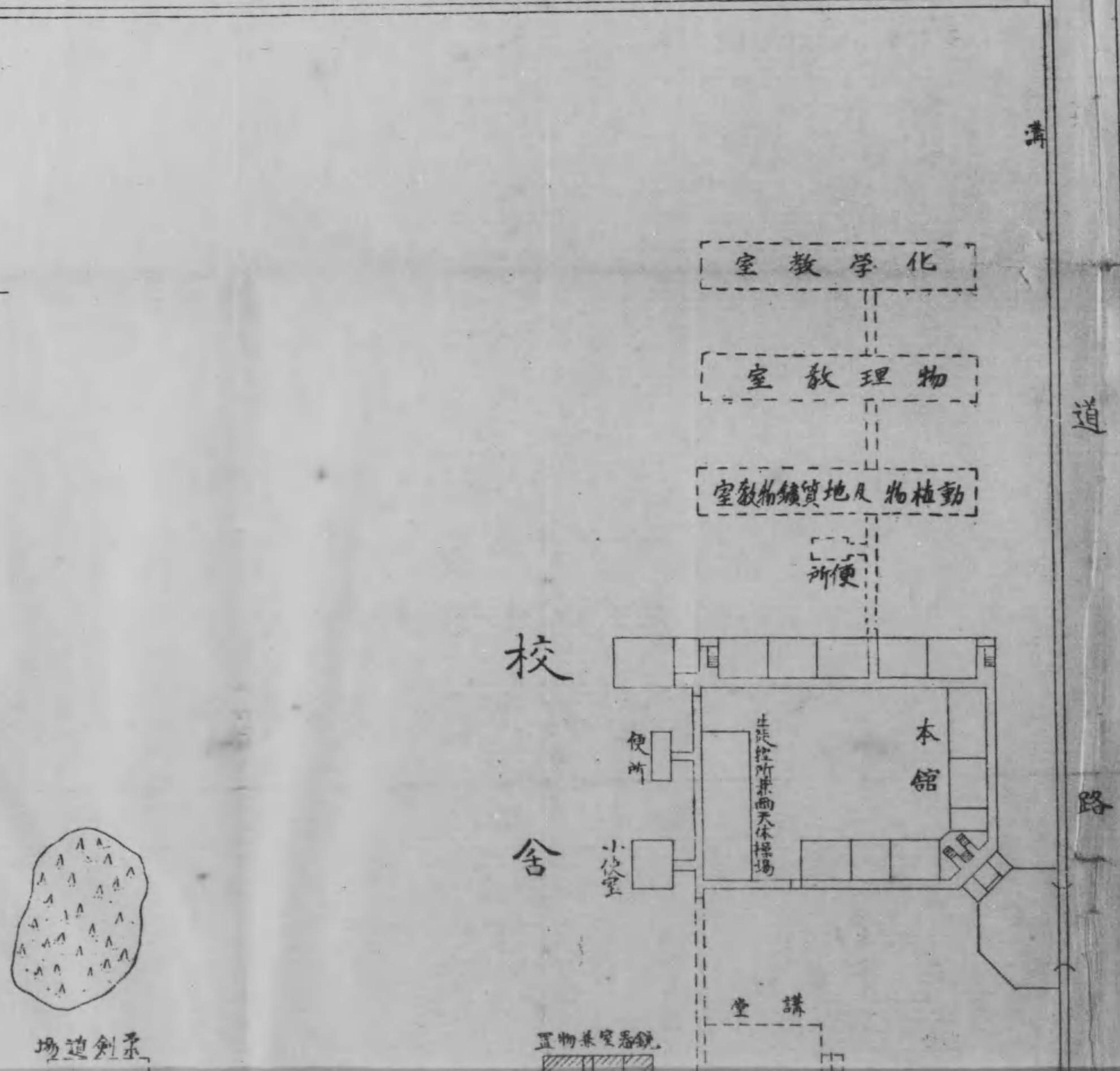
合宿寄

面平階二

舍校假附 圖定豫物建及地敷校本

一分百貳千尺縮

溝



溝

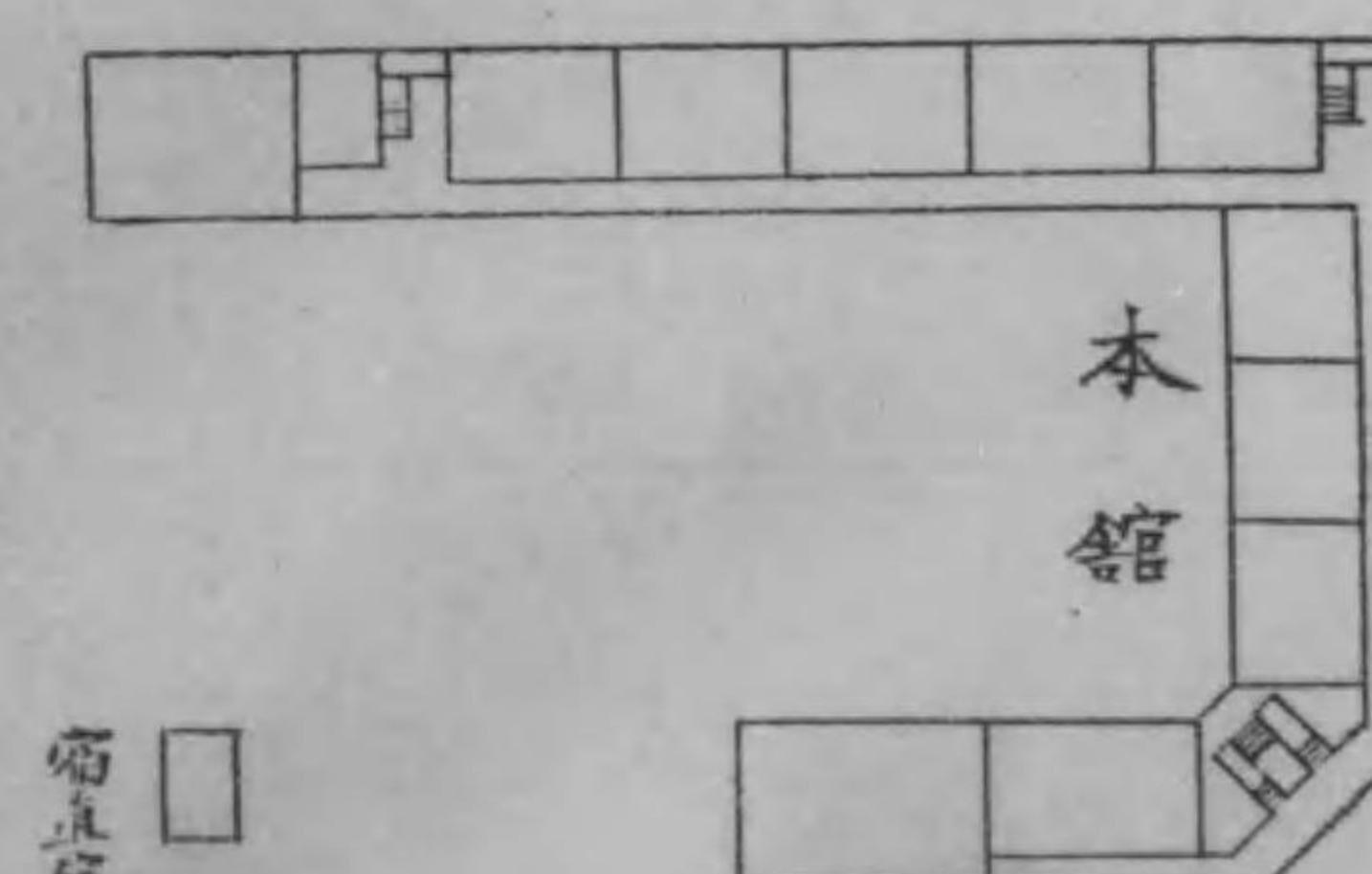
道

路

例	元					
橋	森	建物	既設	名稱	工事中	豫定

坪五拾五	數坪總物建設既
坪拾七百五十	數坪延總物使中事工
陸坪七拾六百六	數坪總物建定豫

數坪總地敷
坪萬貳



印 刷 者 東京 市 神 田 區 雜
印 刷 所 宮 本 部
綾 部

圖舍校假附圖定豫物建及地敷校

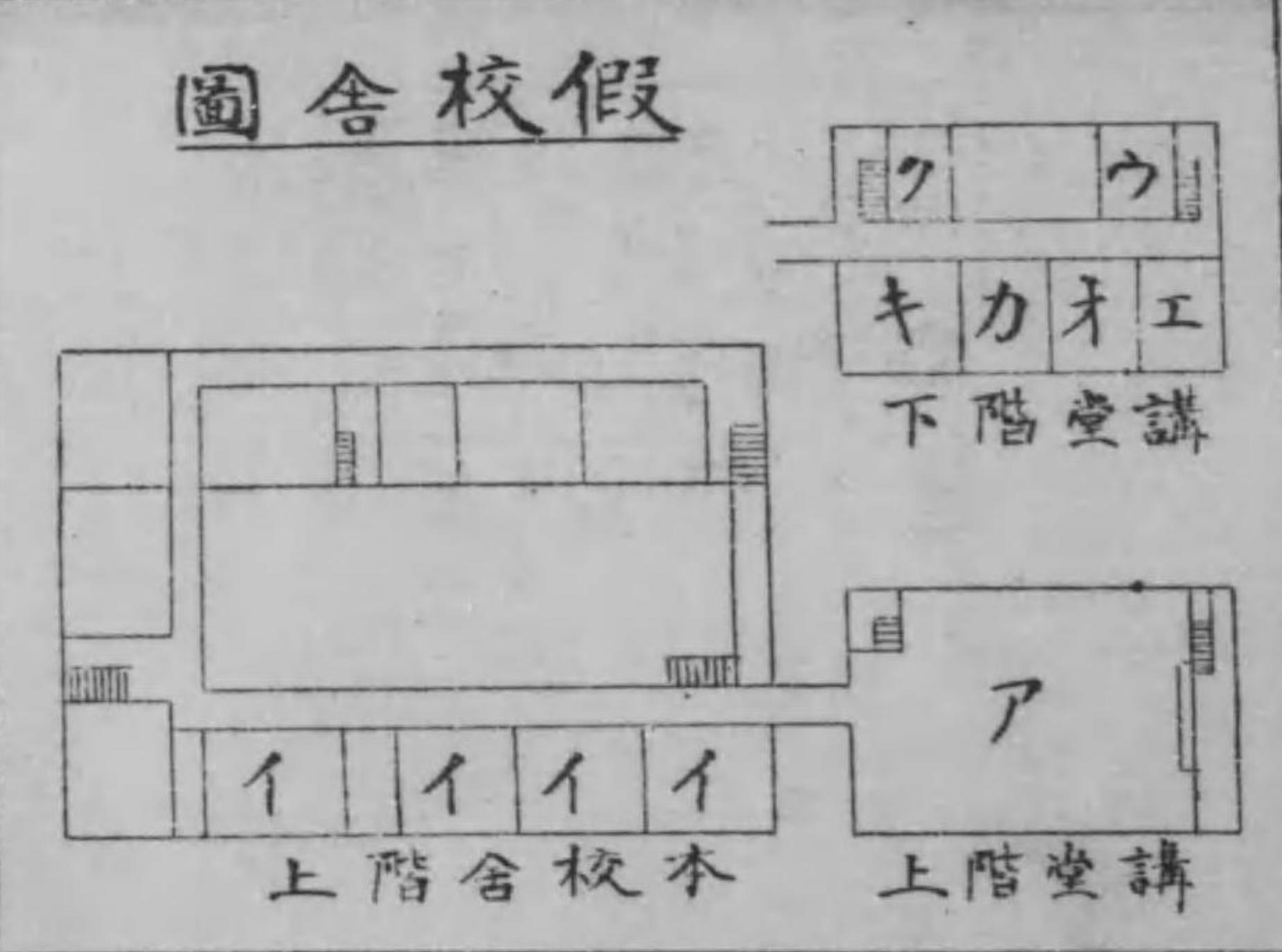
一分百貳千尺縮

溝

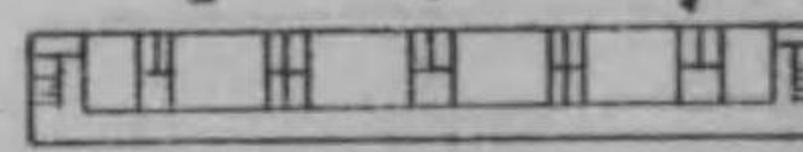


ク	キ	カ	才	工	ウ	イ	ア
宿直兼小便室	製圖課	圖生徒課	教員室	事務室	校長室	教室	講堂
室	室	室	室	室	室	室	堂
室	室	室	室	室	室	室	

圖舍校假



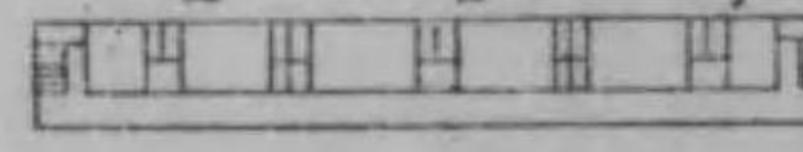
舍宿寄



舍宿寄

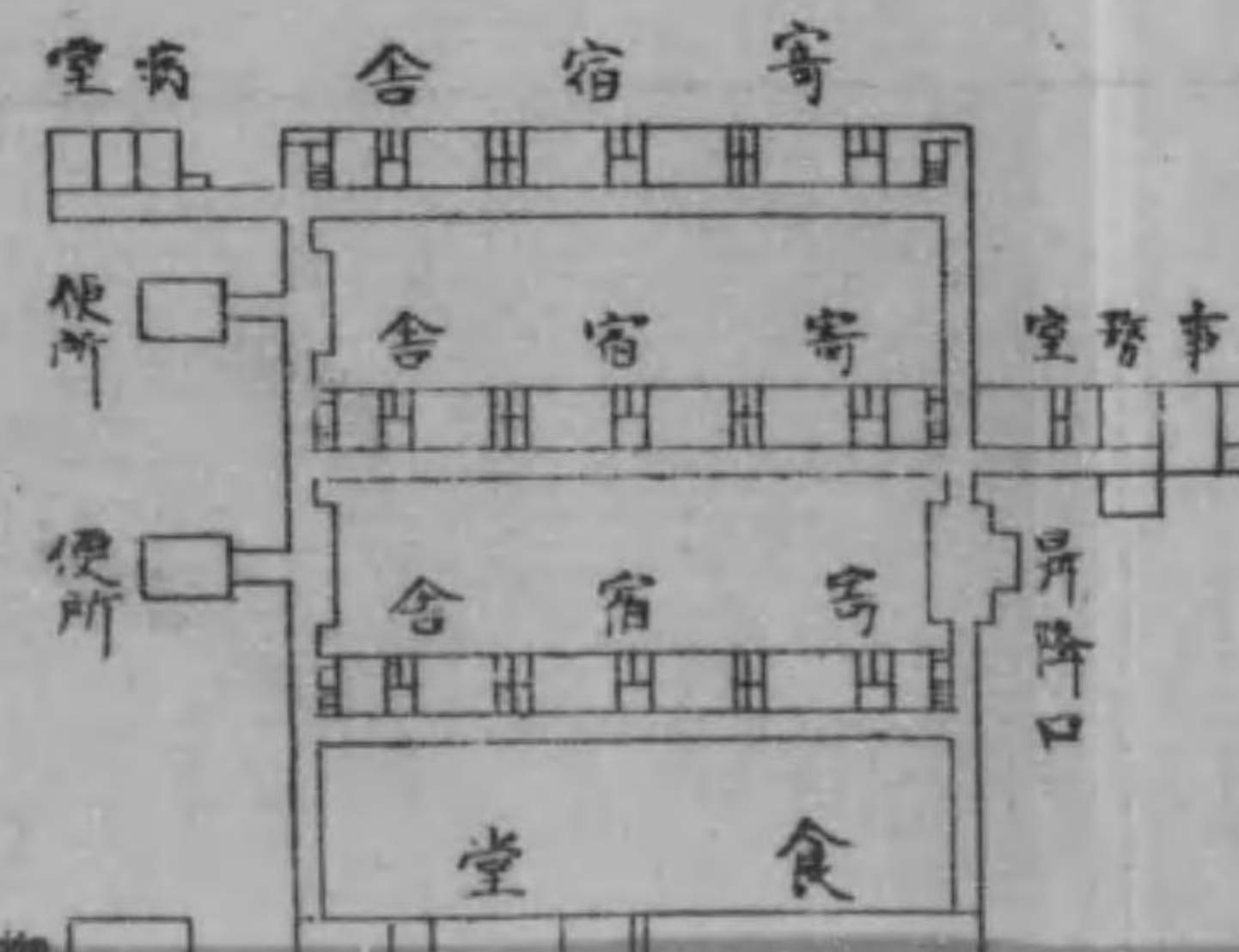


舍宿寄

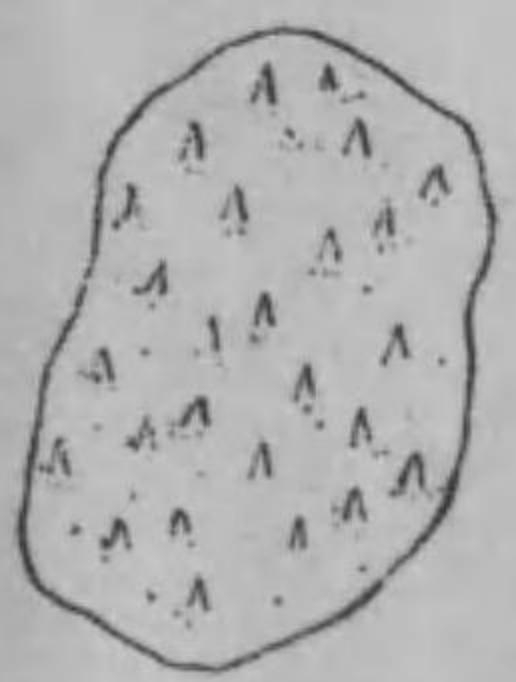


溝

舍宿寄



場道劍柔



校

舍



便所

小便室

置物兼室器鏡

印刷者 綾部喜久二

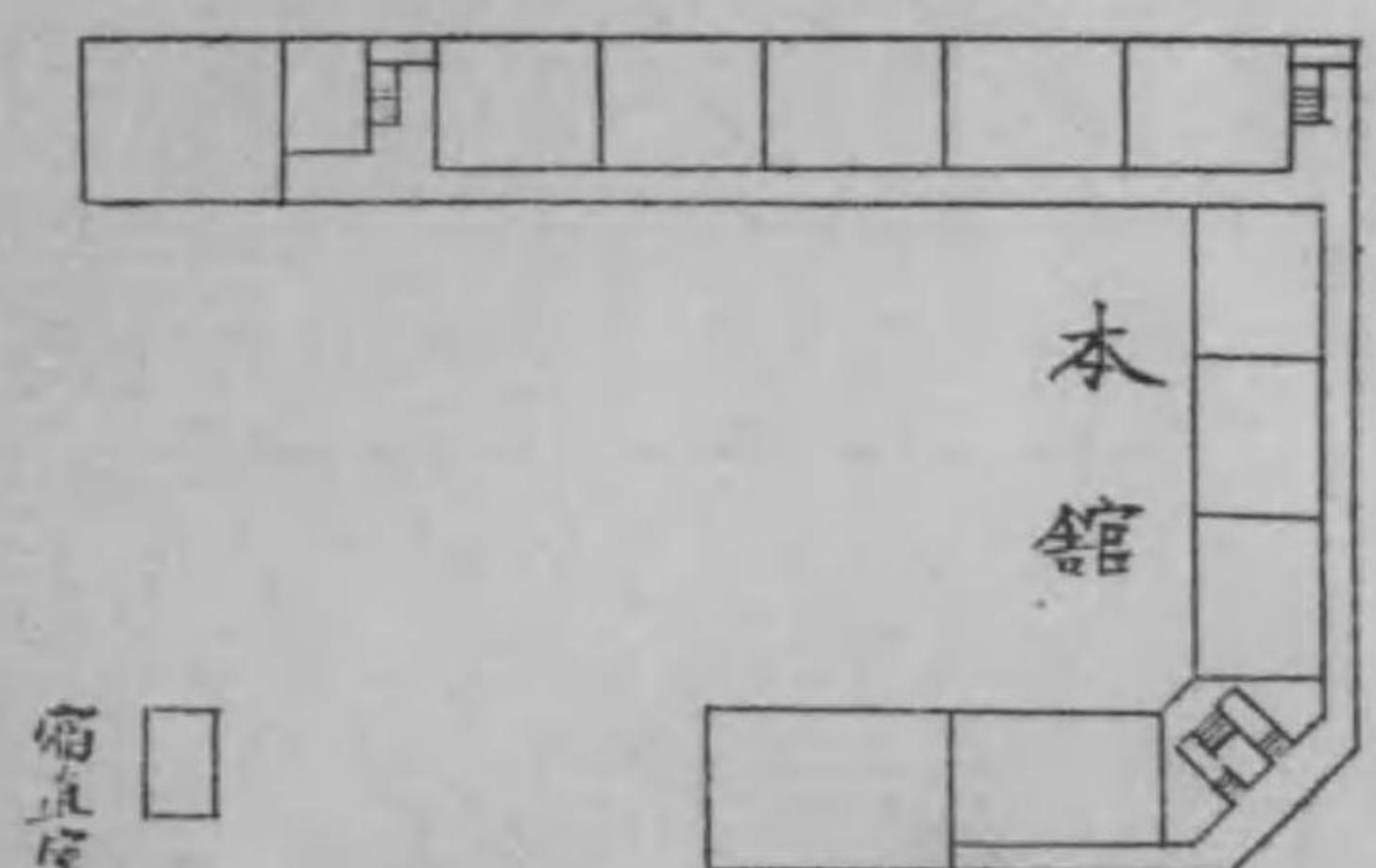
東京市神田區雛子町三十四番地

印刷所 宮本印刷所

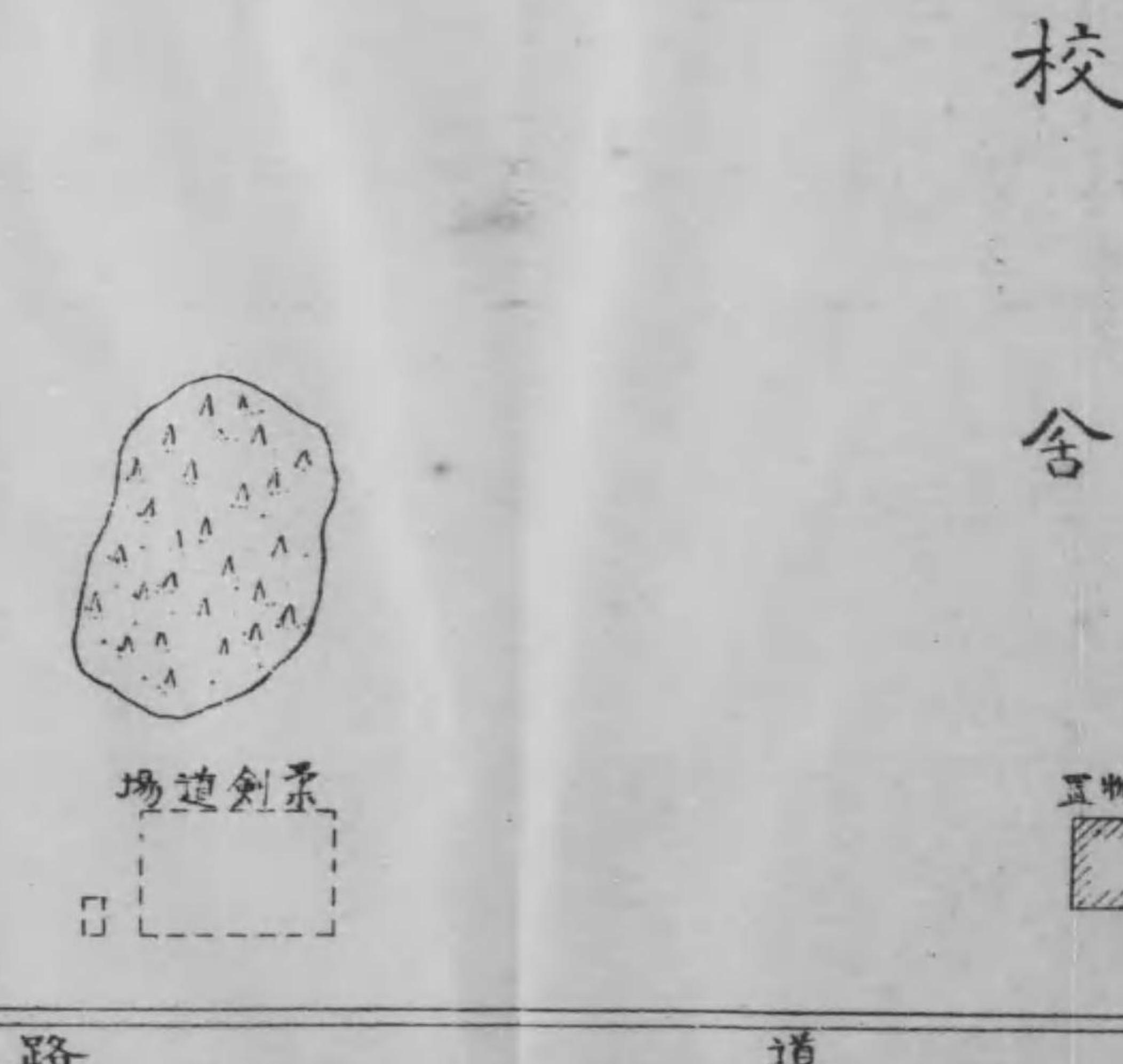
例	名
△	既設
□	建設中
■	建築物
○	工事中
●	既設建物
▲	敷地
◆	豫定
◆◆	建物
◆◆◆	內森
◆◆◆◆	橋

坪五拾五	數坪總物建設既
坪拾七百五十	數坪延續物建中工
金拾七百六十六	數坪總物建定豫

數坪總地數
坪萬貳



面平階二



路道

溝道

化學教室室

物理教室室

動植物及地質教室

所便

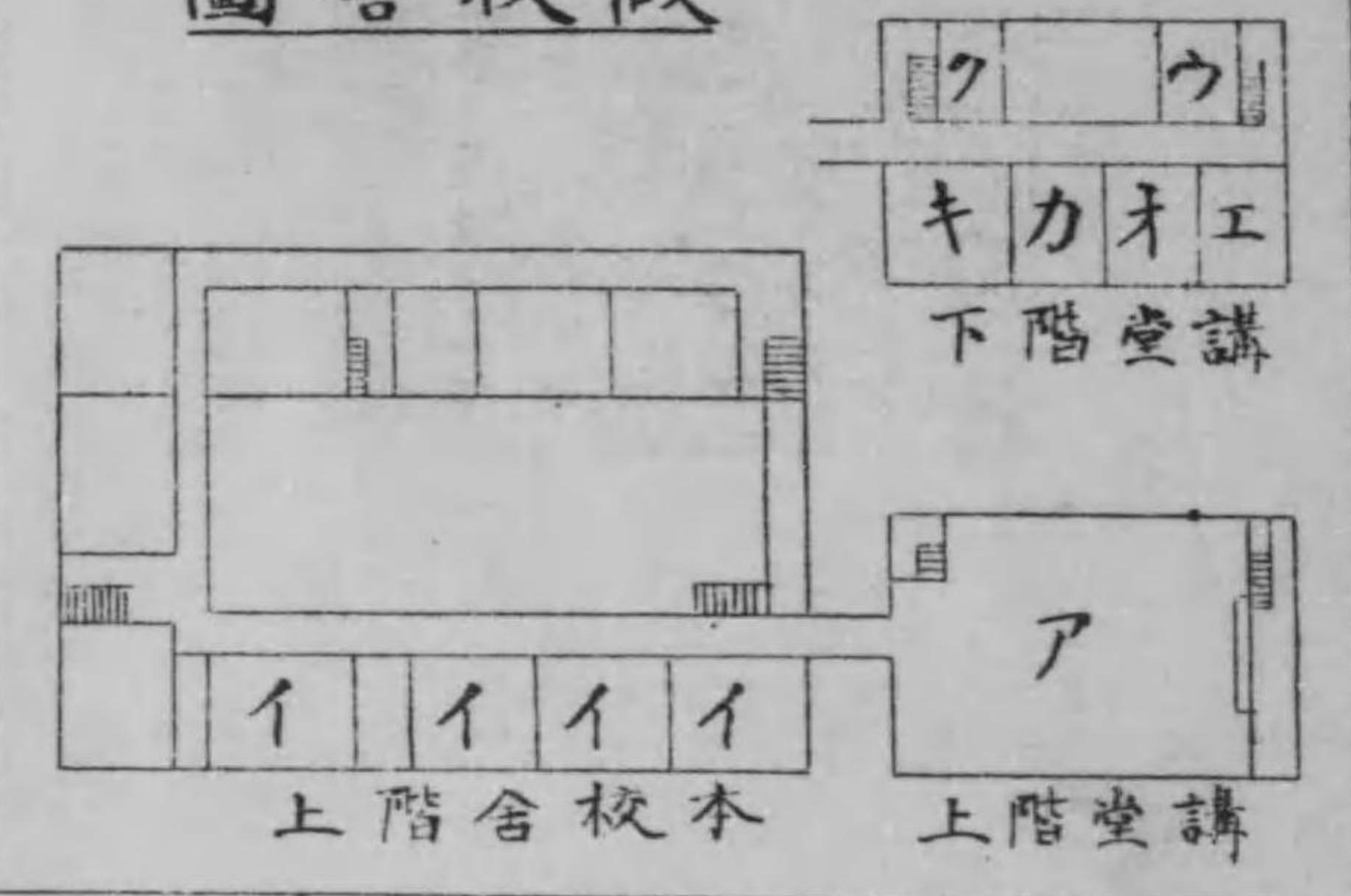
校舍



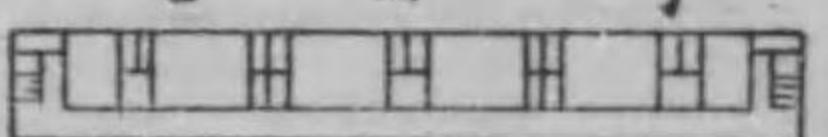
劍道場

ノ	キ	力	才	工	事	校	教	講
宿	直	兼	使	室	圖	製	生	課
直	兼	使	室	圖	製	生	課	課
兼	使	室	室	室	室	室	室	室

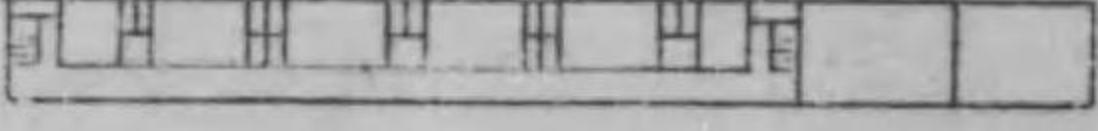
假校舍圖



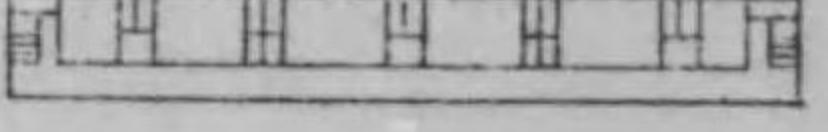
寄宿舍



寄宿舍

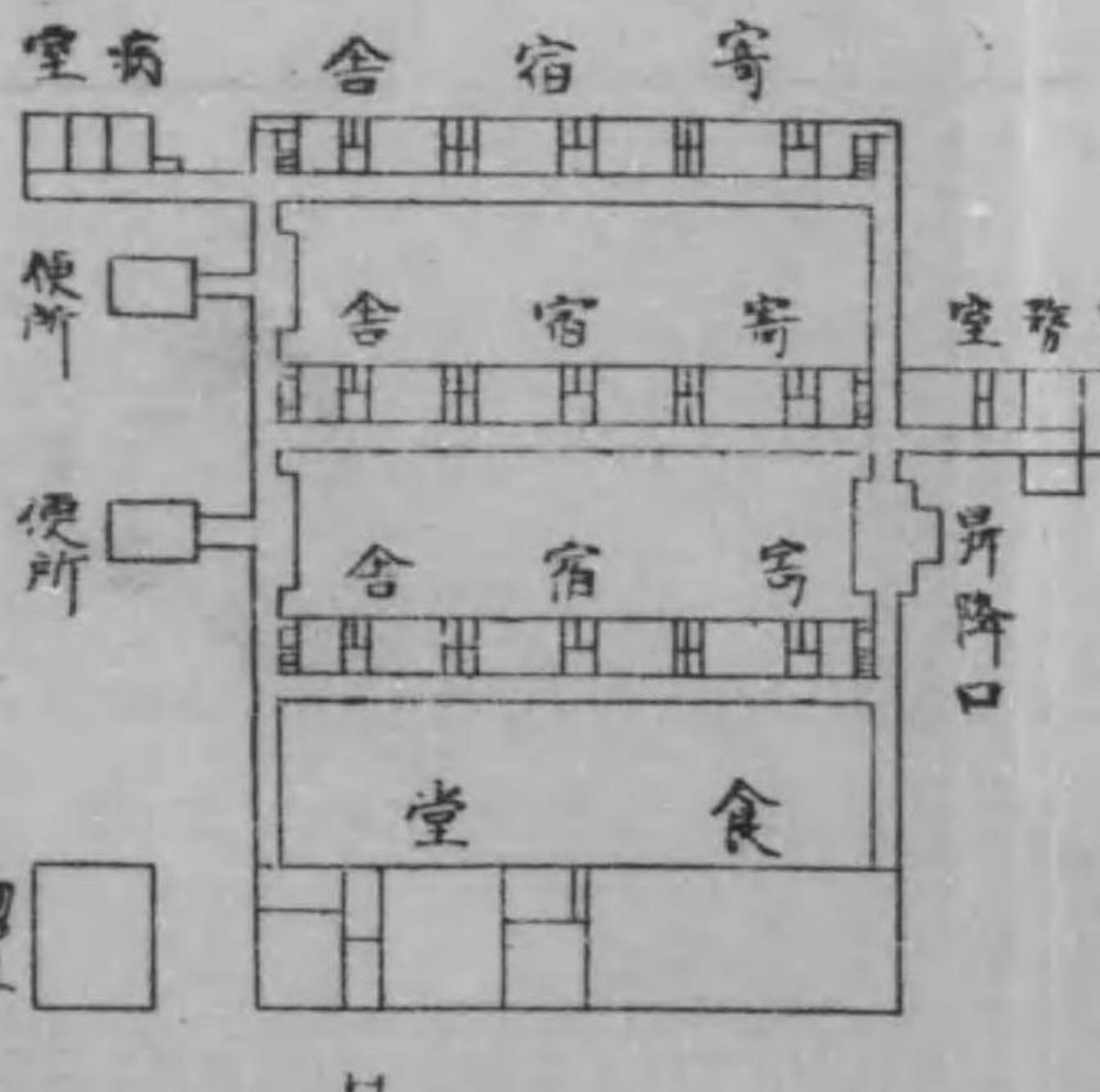


寄宿舍



二階平 面

寄宿舍



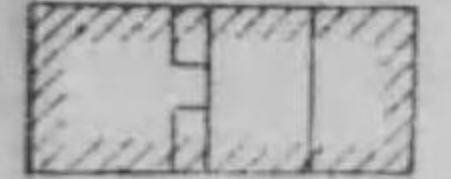
柔劍道場

道 路

校

舍

置物兼室器類



283
19

圖書室藏書
中華書局印行
民國廿一年九月

新編詩林
古漢社



二册平函

終